NTT docomo

F-41C

arrows ケータイ ベーシック

取扱説明書

はじめに

「F-41C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

「クイックスタートガイド」（本体付属品）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（本端末に搭載）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。
【ご利用方法】
待受画面で MENU →［ツール］→［取扱説明書］

「取扱説明書」（PDFファイル）

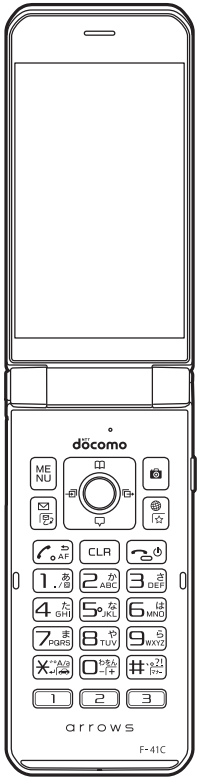
機能の詳しい案内や操作について説明しています。ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

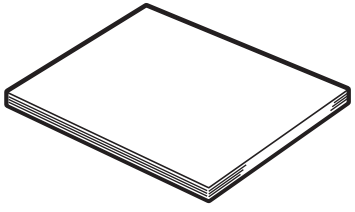
- 本書においては、「F-41C」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、本書巻末をご覧ください。
- 本書はカラーテーマが「ネイビー」の場合で説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

本体付属品

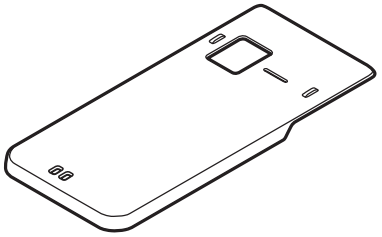
■F-41C本体



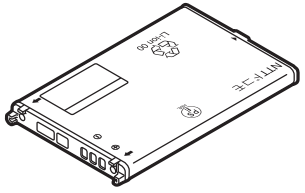
■クイックスタートガイド



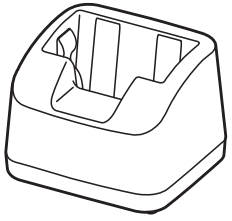
■リアカバー F93



■電池パック F36



■卓上ホルダ F54



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

目　次

■本体付属品 1
■本端末のご利用について 4
■安全上のご注意（必ずお守りください）..... 6
■取り扱い上のご注意 21
■防水／防塵、耐衝撃性能 25

ご使用前の確認と設定 33

各部の名称と機能 33
基本操作 37
nanoSIMカード 43
microSDカード 45
電池パック 46
充電 47
電源を入れる／切る 51
文字入力 52
初期設定 56
タスク管理 58

電話 59

電話をかける 59
電話を受ける 62
通話中の操作 63
リダイヤル／着信履歴 64
伝言メモと通話メモ 65
ドコモ留守電アプリ 68
発着信・通話設定 69
電話帳 71

メール／ウェブブラウザ 74

ドコモメール 74
＋メッセージ 76
Eメール 81
Exchange 84
ウェブブラウザ 87

カメラ 95

カメラをご利用になる前に 95
静止画撮影 97
動画撮影 99
QRコードリーダー 100

ツール／アプリ 101

歩数・活動量計 101
ミュージック 101
スケジュール 103
アラーム 104
メモ 105
ボイスレコーダー 105
電卓 106
お知らせタイマー 107
SDカードバックアップ 107

設定 109

設定メニュー 109
音・バイブ・LED 109
画面 111
電池 112
通信・機内モード 112
セキュリティ 116
言語・文字・入力 122
便利機能 123
ドコモサービス 123
端末管理 124

データ管理 128

本体（内部ストレージ） 128
microSDカード（外部ストレージ） 128
ファイル操作 128
パソコンとの接続 132

安心・安全サービス 133

災害用伝言板 133
緊急速報「エリアメール」 133
ドコモあんしんスキャン 135
あんしんナンバーチェック 135
あんしんフィルター for docomo 136

海外利用 137

国際ローミング（WORLD WING）の概要 137
海外で利用可能なサービス 137
海外でご利用になる前に 138
滞在先で電話をかける／受ける 140
国際ローミングの設定 142
帰国後の確認 144

付録／索引 145

メニュー一覧 145
トラブルシューティング（FAQ） 147
保証とアフターサービス 153
ソフトウェアアップデート 156
主な仕様 158
携帯電話機の比吸収率（SAR） 160
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones 161
輸出管理規制 168
知的財産権 168
索引 171

本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM/GPRSに対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客さまから事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客さまの情報及びその他の当社が保有しているお客さまの情報を用いて

お客さまのニーズを推測し自動的に選定されます。お客さまの情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、パケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P119
- 万が一紛失した場合は、SNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google および各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷 ：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷 ：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害 ：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、nanoSIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理機器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

→P25「防水／防塵、耐衝撃性能」

禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P25「防水／防塵、耐衝撃性能」

禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P25「防水／防塵、耐衝撃性能」

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P25「防水／防塵、耐衝撃性能」

指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下等に注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。
- 電池パックを本端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P25「防水／防塵、耐衝撃性能」

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
nanoSIMカードスロットのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆本端末の取り扱い

⚠危険

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止

本端末内のnanoSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。

禁止

リアカバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。

禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P19「材質一覧」

指示

本端末を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。
すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。

指示

本端末の受話口、スピーカー、ディスプレイ右下部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

◆電池パックの取り扱い

⚠危険

禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックを本端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付けかた、取り外しかたについては以下をご参照ください。
→P47「取り付けかた」
→P47「取り外しかた」

禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確かめてください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付けかたについては以下をご参照ください。
→P47「取り付けかた」

指示

電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示

電池パック内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。
また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。

禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆nanoSIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部　背面ディスプレイ面	PA-GF樹脂	UVハードコート
	可動部　ディスプレイ面		
	固定部　操作キー面	PC-GF樹脂	UVハードコート
	固定部　電池面		
	ヒンジ部　可動側	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	ヒンジ部　固定側	PC+ABS-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバー　本体	PC-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバー　止水部	エラストマー樹脂	なし
ケースパッド		ウレタンアクリレート樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		アクリル樹脂+PC樹脂	UVハードコート

使用箇所		材　質	表面処理
背面パネル		アクリル樹脂	UVハードコート
カメラレンズ部、カメラパネル		アクリル樹脂+PC樹脂	UVハードコート
サイドキーストッパー		ABS樹脂	なし
サイドキー		PC樹脂	UVハードコート
操作キー		ウレタンアクリレート樹脂	UVハードコート
オープンアシストボタン		PC樹脂	UVハードコート
nanoSIMカードトレイ		POM樹脂	なし
nanoSIMカードスロット（樹脂部）		LCP樹脂	なし
microSDカードスロット		ステンレス鋼	なし
USB Type-C接続端子キャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部、ツメ部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	シリコーンゴム	なし

使用箇所		材　質	表面処理
USB Type-C接続端子	シールド	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	ハウジング	PA樹脂	なし
電池端子	電池端子コネクタ本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ（下地 Ni-Pdメッキ）
ネジ（電池収納面）		ステンレス鋼	なし
電池収納面	板金	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	銘板シール	PET	なし
	水濡れ反応シール	上質紙	ラミネート（PET）
電池パック F36	電池パック本体	PC樹脂	シボ処理
	端子部	銅	金メッキ
	ラベル	PET	マットニス印刷
	水濡れ反応シール	模造紙	なし

使用箇所		材　質	表面処理
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	PPS樹脂	なし

■卓上ホルダ F54

使用箇所		材　質	表面処理
上下ケース		ABS樹脂	シボ加工
フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）		POM樹脂	なし
充電端子（接点部）		リン青銅	金メッキ
ゴム足		ウレタンフォーム	なし
ネジ		Pタイトナベネジ	三価クロメート
外部接続端子	シールド	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	ハウジング	PA樹脂	なし
ラベル（上ケース）		ポリエステルフィルム	なし
ラベル（下ケース）		アート紙	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-41Cは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」（→P153）をご確認ください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- **端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  - 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
    また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの故障、破損の原因となります。
    また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
  - 指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。

◆本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
    風呂場でのご使用については、「F-41Cが有する防水性能でできること」（→P26）をご参照ください。
- **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。

- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はUSB Type-C接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。**
  - 本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
    また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（10℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックは消耗品のため、保証対象外です。**
  - 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。
    十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、「保証とアフターサービス」（→P153）をご確認ください。
- **電池パックを保管される場合は、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となるため、次のような状態で保管しないでください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **電池の種類は次のとおりです。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（10℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- **充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆nanoSIMカードについてのお願い

- **nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
  - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、メモリーカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
  - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク㊟」が本端末の銘板シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-41Cは、USB Type-C接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。
また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
※4 米国国防総省が制定したMIL-STD-810G w/ Change1 Method 516.7-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験

防水（浸漬）	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防湿	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
耐日射（連続）	連続24時間（合計1,120W/m^2）の日射試験
耐振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
防水（風雨）	30分間にわたる18m/sの降雨試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
塩水耐久	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
防塵（6時間風速有り）	連続6時間（粉塵10±7g/m^3、風速8.9m/s）の粉塵試験

米国国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の14項目、落下、防水（浸漬）、防湿、耐日射（連続）、耐振動、防水（風雨）、高温動作（60℃固定）、高温保管（70℃固定）、低温動作（-20℃固定）、低温保管（-30℃固定）、低圧動作、低圧保管、塩水耐久、防塵（6時間風速有り）に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

❖F-41Cが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、USB Type-C接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - USB Type-C接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P25）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P31）で水抜きしてください。

- **風呂場で使用できます。**
  - 風呂場でご使用後は、所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P31）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%以下でご使用ください（ただし、温度36℃以上または湿度86%以上は一時的な使用に限ります）。
    なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
  - 寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むと、急激な温度変化でディスプレイやケース表面に結露が発生する場合があります。結露によりディスプレイが見にくくなったりした場合は、本端末が常温になるまでお待ちください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

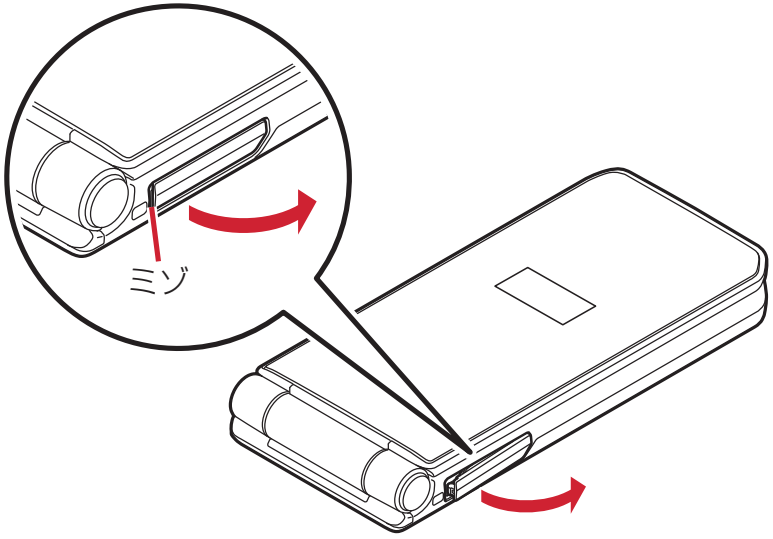
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- USB Type-C接続端子キャップとリアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、USB Type-C接続端子キャップなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- USB Type-C接続端子キャップやリアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

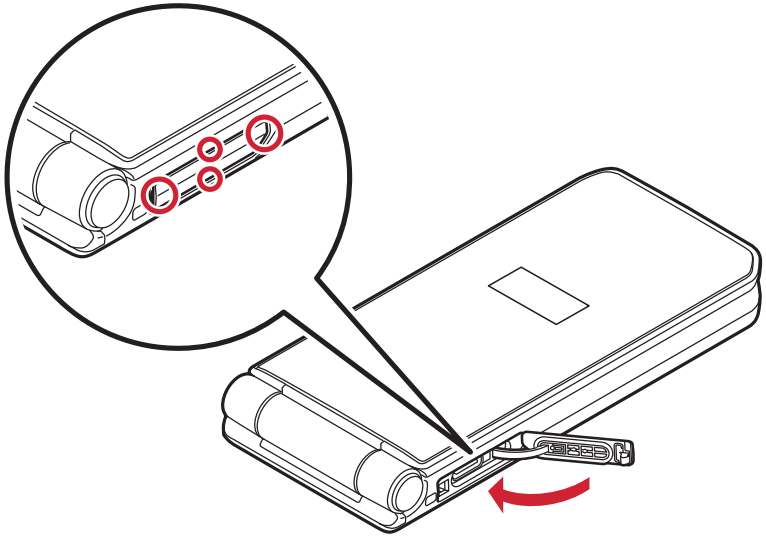
■USB Type-C接続端子キャップの開きかた／閉じかた

①ミゾに指先をかけてUSB Type-C接続端子キャップを矢印の方向に開く



②使用後はUSB Type-C接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印の方向に押し込む

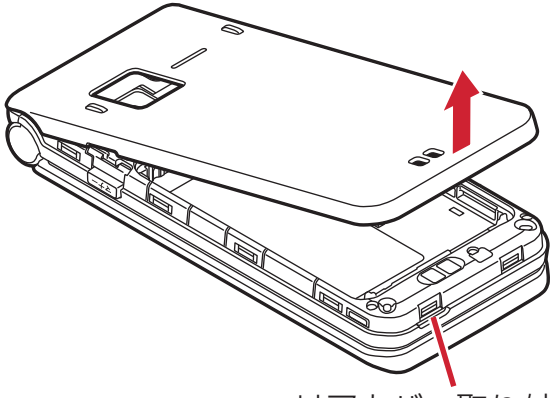
- ○部分をしっかりと押し、USB Type-C接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。



■リアカバーの取り外しかた

①リアカバー取り外し部の位置でリアカバー側に指先をかけ、リアカバーを垂直に持ち上げながら取り外す

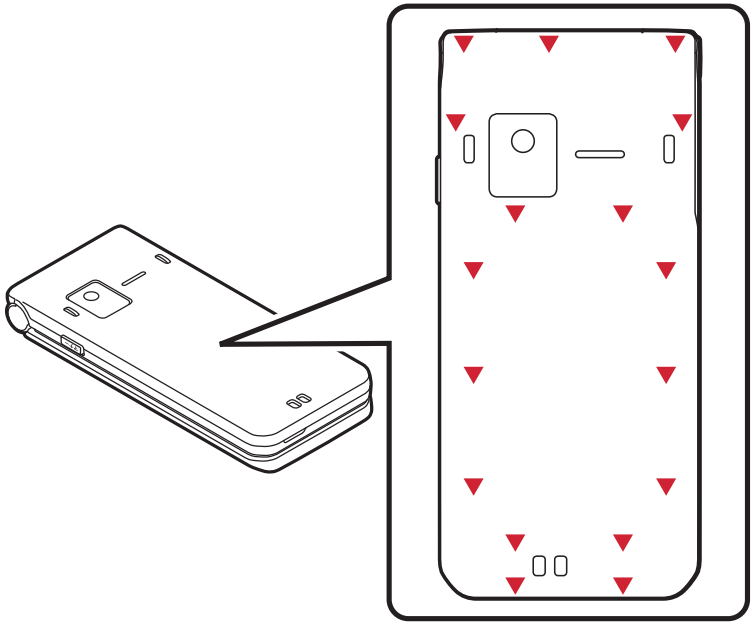
- リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。



■リアカバーの取り付けかた

①リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押す

- 浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて端末をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P25）以上の強い水流を直接当てないでください。F-41CはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を開いた状態で水中を移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。

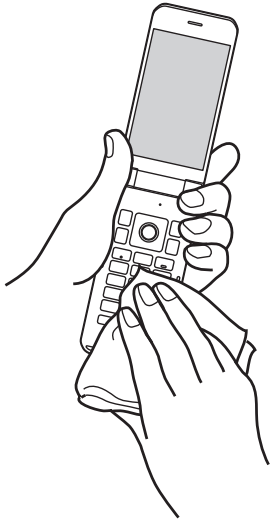
- USB Type-C接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については本書巻末のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- USB Type-C接続端子キャップやリアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

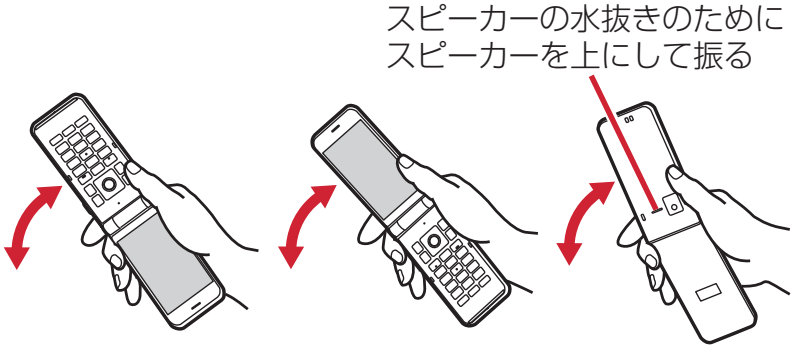
◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

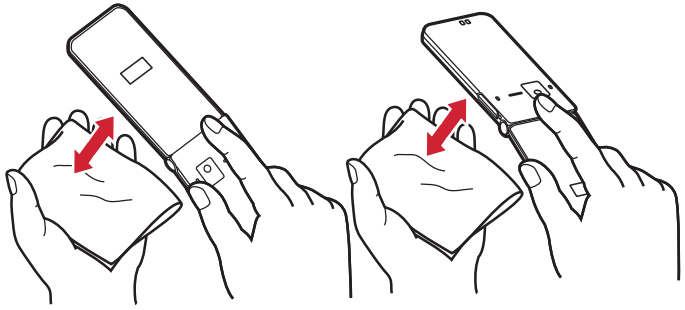
①本端末をしっかりと持ち、前面、背面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



②本端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



③送話口／マイク、受話口、スピーカー、ヒンジ部、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



④本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

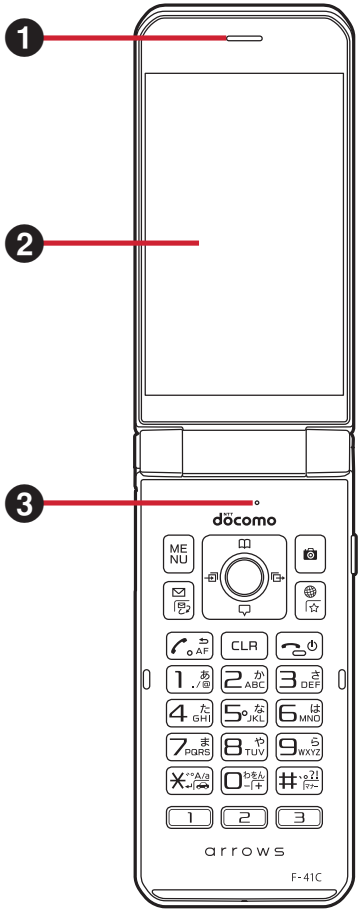
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

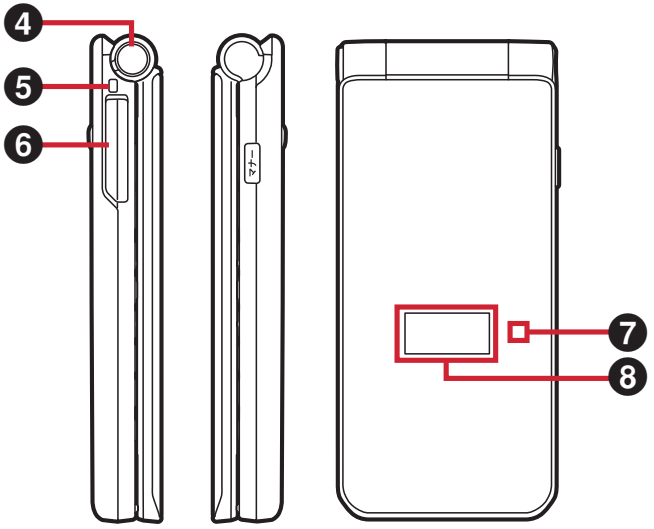
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、USB Type-C接続端子キャップを開いたりしてください。
- USB Type-C接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとUSB Type-C接続端子キャップを閉じてください。USB Type-C接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

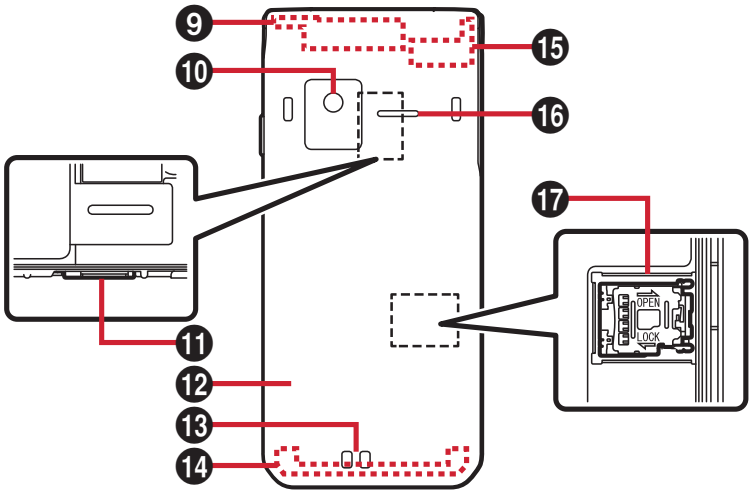


前面


左側　右側　背面（上部）

〈各部の名称〉

❶受話口
❷ディスプレイ
❸送話口／マイク
❹オープンアシストボタン→P37
❺ストラップホール※1
❻USB Type-C接続端子※2、※3
充電時やイヤホンマイク、パソコンなどの接続時に使用します。
❼お知らせLED→P42
❽背面ディスプレイ→P41

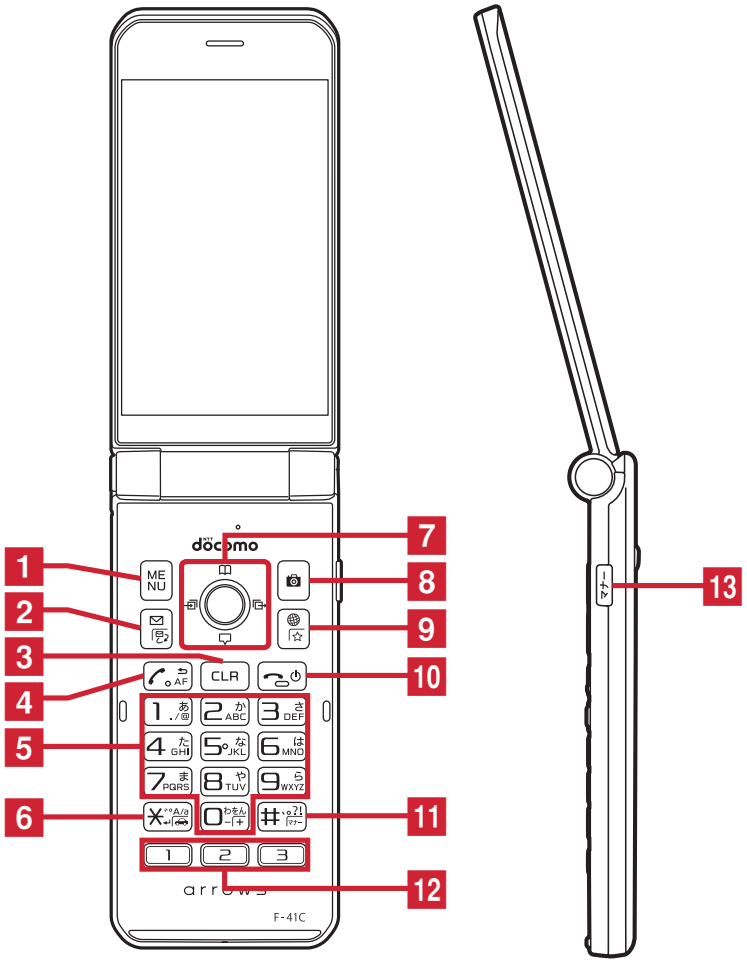


背面（下部）

❾FOMAアンテナ部※4
❿カメラ→P95
⓫nanoSIMカードスロット
⓬リアカバー
⓭充電端子
⓮FOMAサブアンテナ※4
⓯GPSアンテナ部※4
⓰スピーカー
⓱microSDカードスロット

※1 ストラップを取り付ける際は、リアカバーをいったん取り外したあと、ストラップを本端末のストラップホールに通し、内部のフックにかけてから、再びリアカバーを取り付けます。
※2 水や粉塵の侵入を防ぐために、USB Type-C接続端子キャップをしっかりと閉じてください。
※3 USB Type-Cのイヤホン／イヤホン変換ケーブルを接続して、イヤホンマイクを使用する場合はアナログ方式のみ対応しております。
※4 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

〈規格銘板について〉
電池パックを取り外した場所には、IMEI情報（端末識別番号）などを印刷したシールが貼られています。シールをはがさないでください。
→P155



〈キーの機能〉

各キーの主な機能は次のとおりです。

●：押す　■：1秒以上押す

1 MENU MENUキー

●メニューの表示

●ガイド表示領域左上に表示される操作の実行

2 ✉ メール／文字キー

●メールメニューの表示

●ガイド表示領域左下に表示される操作の実行

●文字入力モードの切り替え

■メール問い合わせ

3 CLR クリアキー

●文字の消去、1つ前の画面に戻る

4 ✆ 音声電話開始（開始キー）／⮌／AFキー

●音声電話をかける／受ける

●文字入力中に1つ前の文字に戻す

●手動オートフォーカス

■文字列を1つ前の状態に戻す

5 ダイヤルキー

1 ～ **9**

●電話番号（1～9）や文字の入力、メニュー・項目選択

0

●電話番号（0）や文字の入力、メニュー・項目選択

■国際電話をかけるときの「+」の入力

6 ✱ ＊／A/a／改行／運転中モードキー

●「＊」や「゛」「゜」の入力、大文字／小文字切り替え

●文字入力時の改行、メニュー・項目選択

■運転中モードの起動／解除

7 マルチカーソルキー ※1

●決定キー

●操作の実行、フォーカスモードの実行

●電話帳／↑キー

●電話帳の表示

●音量調節、上方向へのカーソル移動

●＋メッセージ／↓キー

●＋メッセージの起動

●音量調節、下方向へのカーソル移動

●着信履歴／←キー

●着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動

●リダイヤル／→キー

●リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動

8 カメラキー

●静止画撮影の起動

●ガイド表示領域右上に表示される操作の実行

9 Webキー

●Webメニューの表示

●ガイド表示領域右下に表示される操作の実行

■Webのブックマークを表示

10 電源／終了キー

●着信拒否、通話／操作中の機能の終了（待受画面に戻る）

■2秒以上押す：電源を入れる

■電源を切る、再起動の操作、運転中モード、機内モード、マナーモードの設定

11 #／マナーモードキー

●「#」や「、」「。」「?」「!」「・」の入力、メニュー・項目選択

■マナーモードの起動／解除

12 お気に入り機能ボタン ※2

1

●設定なし

2

●Webのブックマークを表示

■スクリーンショットを保存

3

●最大輝度モードで表示

13 マナー サイドキー ※2

●アプリ通知一覧を表示

●端末を閉じているときは背面ディスプレイの点灯

■再開可能なアプリを表示

■端末を閉じているときはマナーモードの起動／解除

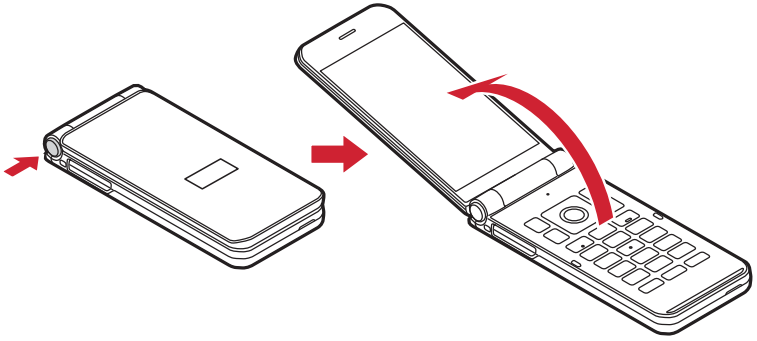
※1 操作の説明では、（上下）、（左右）、（4方向）、（斜め方向を含む8方向）と表記する場合があります。

※2 お買い上げ時の状態での動作です。

◆オープンアシストボタン

ボタン操作で簡単に本端末を開くことができます。

- オープンアシストボタンを使用しない場合でも、軽い力で簡単に開きます。



✔お知らせ

- 端末を手に持って操作してください。また、端末を開くときに自分の顔、人や物などに当てたり、開くときの反動で端末を落としたりしないようにご注意ください。
- 端末の向きによっては、ボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- 端末は手で閉じてください。完全に閉じないときは、端末を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

基本操作

ディスプレイに表示される情報の見かたや操作を説明します。

◆メニューの選択

待受画面で MENU を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。
  [ ]：待受画面に戻ります。
  CLR：1つ前のメニューに戻ります。

❖マルチカーソルキーで選択

を押して、目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し、項目を選択する方法です。

- カーソルを移動するとカーソル位置の色が変わります。
- 本書の操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記の例	意　味
待受画面で MENU →［ツール］→［電卓］	待受画面で MENU を押した後、で「ツール」にカーソルを移動し ● を押す。続けて「電卓」にカーソルを移動し ● を押す。

※ 本書ではで項目にカーソルを移動し ● を押す操作を省略しています。

❖ダイヤルキーで選択（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（ショートカット番号）が割り当てられている場合に、対応するダイヤルキー（0～9）や＊、#を押してメニュー項目を選択する方法です。

- 目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。項目番号がないメニューは、マルチカーソルキーで選択してください。
- メニューのショートカット→P145

〈例〉電卓アプリを選択する

1 待受画面でMENU→9 2

◆ポインタの使いかた

Webサイト画面ではポインタ（▶）による操作ができます。

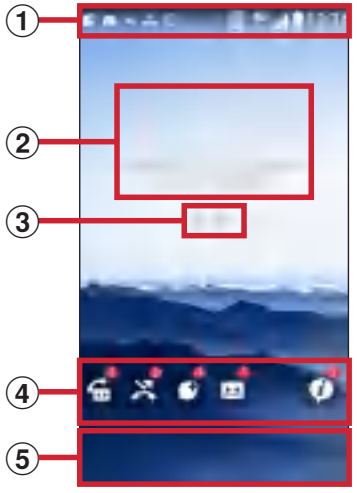
〈例〉Webサイトでリンクを選択する

1 ☼でポインタをリンクに移動→●［選択］

- ポインタ操作の詳細→P89

◆待受画面の見かた

待受画面に表示されるアイコンで、新着情報や現在の状態（ステータス）などを確認できます。



①ステータスバー
通知アイコンとステータスアイコンで現在の状態を確認します。

②時刻・日付

③歩数

④新着情報アイコン
不在着信や伝言メモなどの新着情報があると表示されます。

⑤ガイド表示領域
メニュー表示時やフォーカスモード（→P41）時にはガイドが表示されます。

❖ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。

■主な通知アイコン

: 新着ドコモメール→P74
: 新着Eメール→P81
: 新着Exchangeメール→P84
: 新着＋メッセージ→P76
: 新着エリアメール→P133
: USBテザリングが有効→P115
: 発信中／着信中／通話中→P59、P62
: 不在着信→P64
: 留守番電話サービスの伝言メッセージ→P68、P69
／: データのアップロード／ダウンロード
: ソフトウェアアップデート→P156
: スクリーンショットで画像を保存→P42
: ミュージック再生中→P101
: 位置提供設定ON→P123
: 本端末のメモリの空き容量低下
: エラー／警告メッセージあり
: 表示しきれない通知あり

■主なステータスアイコン

: 電波状態
: 圏外
: 国際ローミング中
4G／3G: 4G（LTE）／3G使用可能
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

: 機内モード設定中→P115
: 運転中モード設定中→P35
: 伝言メモ設定中→P65
: 伝言メモあり→P65
: スピーカーフォンON→P63
: マイクミュート→P63
: 最大輝度モードで表示中→P36
: 着信音と通知音の音量0または着信バイブON→P109、P110
: 位置情報取得中→P123
: マナーモード（通常マナー）→P110
: マナーモード（サイレントマナー）→P110
: マナーモード（アラームONマナー）→P110
: アラーム設定中→P104
: 電池残量0～4%（要充電）
: 電池残量5～15%（ほとんどない）
: 電池残量16～30%（少ない）
: 電池残量31～79%
- 31～79%にかけて、残量表示（白色の範囲）が変化します。

: 電池残量80～100%（十分）
: 充電中→P47
: VPN接続→P126

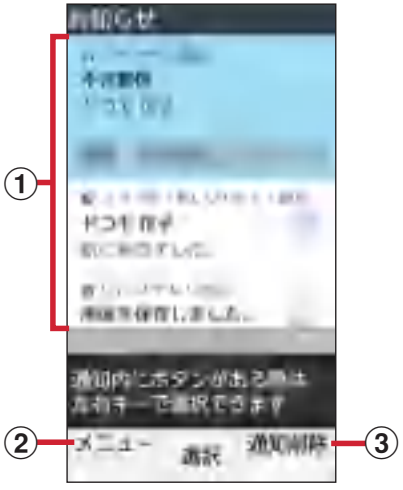
✔お知らせ

- 文字入力中は、現在入力中の入力モードを示すアイコンがステータスアイコンとして表示されます。

❖アプリ通知一覧

アプリ通知一覧を開いてお知らせを確認したり、対応する機能を起動したりします。

1 マナー



お知らせの通知一覧

①アプリ通知
お知らせを選択すると、対応する機能を起動し確認できます。

②メニュー
お知らせの通知一覧／実行中アプリの通知一覧を切り替えたり、お知らせの詳細を開いたり、すべてのお知らせを削除したりできます。

③通知削除
選択しているお知らせを削除します。

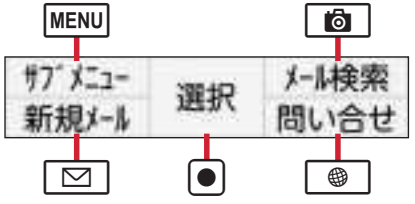
✔お知らせ

- 通知内に［発信］［共有］などのボタンがある場合は、◉を押すと選択できます。
- 実行中アプリの通知のみがある場合は、実行中アプリの通知一覧が表示されます。
  MENU［メニュー］→［お知らせに切替］を選択すると、お知らせの通知一覧に切り替えることができます。

❖ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、MENU、✉、◉、📷、🌐を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。

- 表示位置とキーは、次の図のように対応しています。



❖新着情報アイコンの利用

待受画面の新着情報アイコンを選択すると、対応する情報をすばやく表示できます。

- 新着情報アイコンを選択するにはフォーカスモードにする必要があります。
- アイコン右上の数字は件数を示します。
- 新着情報の内容を確認するとアイコンは消去されます。

1 待受画面で●

フォーカスモードになります。

- フォーカスモードを解除するには CLR または ⌐ を押します。

2 新着情報アイコンを選択

■新着情報アイコン

: アプリ通知のお知らせ
: 伝言メモ
: 不在着信
: 未読メール
: 未読＋メッセージ
: 留守番電話サービスの伝言メッセージ

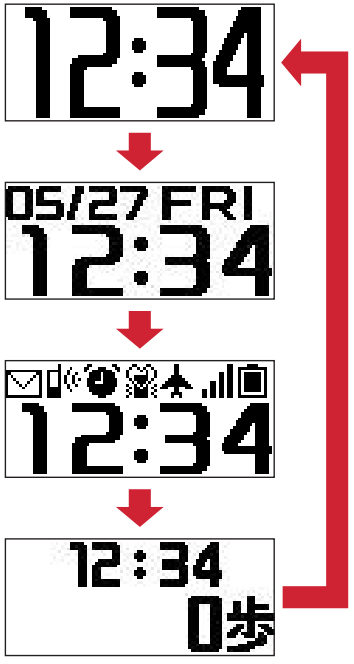
✔お知らせ

- フォーカスモード中は、MENU を押してもメニュー一覧を表示できません。

◆背面ディスプレイ

端末を閉じた状態の背面ディスプレイでは、時計や日付、通知アイコンなどを確認できます。また、着信中やアラームなどのメッセージが表示されます。

- 背面ディスプレイを表示するには、端末を閉じた状態で マナー を押します。一定時間何も操作しないでいると消灯します。
- マナー を押すたびに、次のように表示が切り替わります。



■主なアイコン

: 未読メール
: 不在着信
: アラーム設定中

：マナーモード（通常マナー）
：マナーモード（サイレントマナー）
：マナーモード（アラームONマナー）
：機内モード
：電波状態
：電池残量

✔お知らせ

- 絵文字が登録された連絡先（名前）やメッセージが表示された場合、絵文字によっては見えにくくなることがあります。

◆お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯
充電中：赤色点灯
充電異常：赤色点滅
不在着信、本端末を閉じたとき：［LEDの詳細設定］で設定→P110

✔お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。

◆スクリーンショット（画面保存）

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 お気に入り機能ボタンの［2］（1秒以上）

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに▲が表示されます。

- アプリ通知一覧を開く→スクリーンショットの通知を選択するか、待受画面で［MENU］→［データ］→［画像］を選択すると、画像を確認できます。

◆プロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 **待受画面でMENU→[プロフィール]**

プロフィール画面が表示されます。

2 **MENU[サブメニュー]→[プロフィール編集]→各項目を設定→📷[登録]**

- プロフィール編集中にMENU［サブメニュー］→［メールアドレス自動取得］を選択すると、ドコモメールのメールアドレスを自動で取得して入力することができます。

✔お知らせ

- プロフィール画面でMENU［サブメニュー］を押すと、連絡先データ送信（共有）などの操作ができます。

nanoSIMカード

nanoSIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではnanoSIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてnanoSIMカードにお取り替えください。
- nanoSIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの機能を利用することができません。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

◆nanoSIMカードの取り付け／取り外し

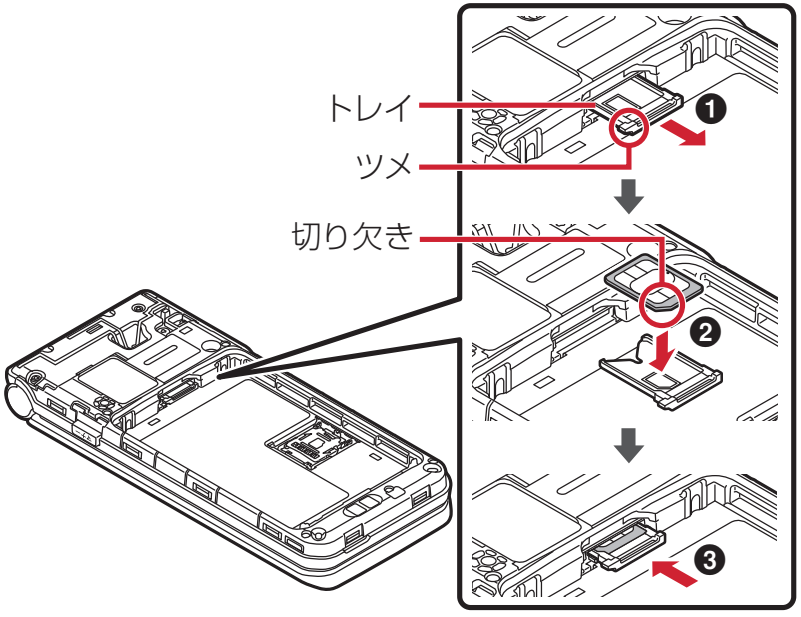
- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから本端末を閉じ、リアカバーと電池パックを取り外した状態で手に持って行ってください。→P29、P47
- nanoSIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。nanoSIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■取り付けかた

①トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す（❶）
- トレイはnanoSIMカードスロットから外れる構造になっています。

②nanoSIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる（❷）
- 切り欠きの方向にご注意ください。

③トレイをnanoSIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む（❸）



■取り外しかた

①トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出してnanoSIMカードを取り外す

②トレイをnanoSIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む

✔お知らせ

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、nanoSIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、nanoSIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをnanoSIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損するおそれがあります。

◆nanoSIMカードの暗証番号

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P122

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカードに対応しています（2022年4月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードの読み込み中や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できないことがあります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

✔お知らせ

- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカード（クラス10以上を推奨）をご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。
- スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありません。

◆microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから本端末を閉じ、リアカバーと電池パックを取り外した状態で手に持って行ってください。→P29、P47

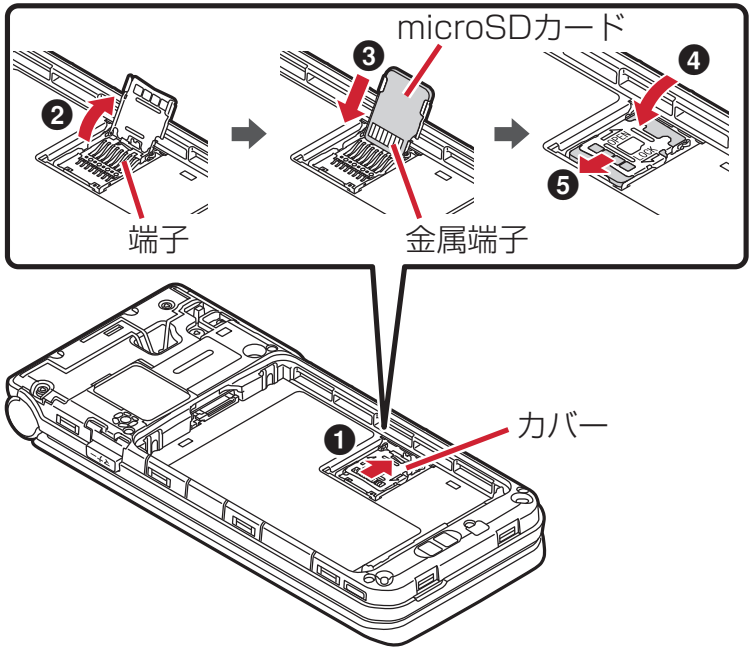
■取り付けかた

①カバーを❶の方向へスライドさせ、❷の方向へ持ち上げる

②microSDカードの金属端子面を手前にして、❸の方向へ奥まで差し込む

- microSDカードを差し込む位置と方向に注意して、正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやカバーの破損、または抜き取れなくなるおそれがあります。
- microSDカードスロットの端子に直接触れないようにご注意ください。故障の原因となります。

③カバーを❹の方向へ閉じ、❺の方向へスライドさせる



■取り外しかた

①カバーを❶の方向へスライドさせ、❷の方向へ持ち上げる
②microSDカードをまっすぐ引き出す
③カバーを❹の方向へ閉じ、❺の方向へスライドさせる

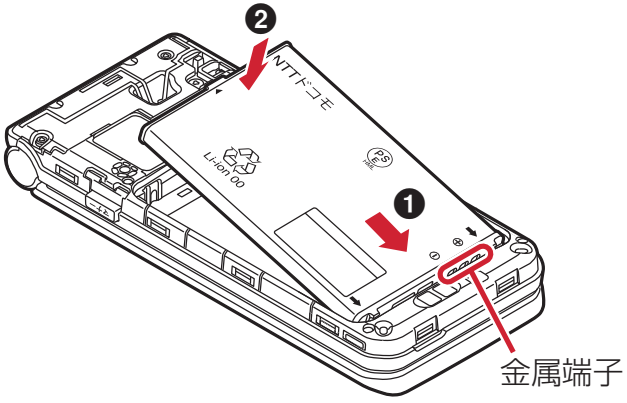
電池パック

◆電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから本端末を閉じ、リアカバーを取り外した状態で手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- リアカバーの取り付け／取り外しについては「防水／防塵性能を維持するために」をご覧ください。→P27
- 本端末専用の電池パック F36をご利用ください。

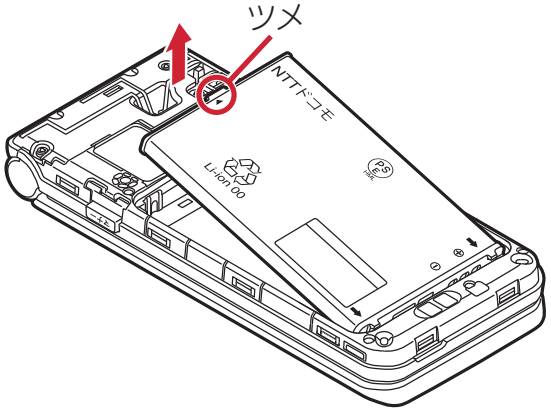
■取り付けかた

①電池パックの「NTTドコモ」印字面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける



■取り外しかた

①電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す



充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」

またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P158
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。
製造元 FCNT株式会社

Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 08（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 05（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ F54（付属品）とACアダプタ 08（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

①ACアダプタのUSB Type-Cプラグを、卓上ホルダ裏側の外部接続端子に水平に差し込む

②本端末を卓上ホルダに差し込む

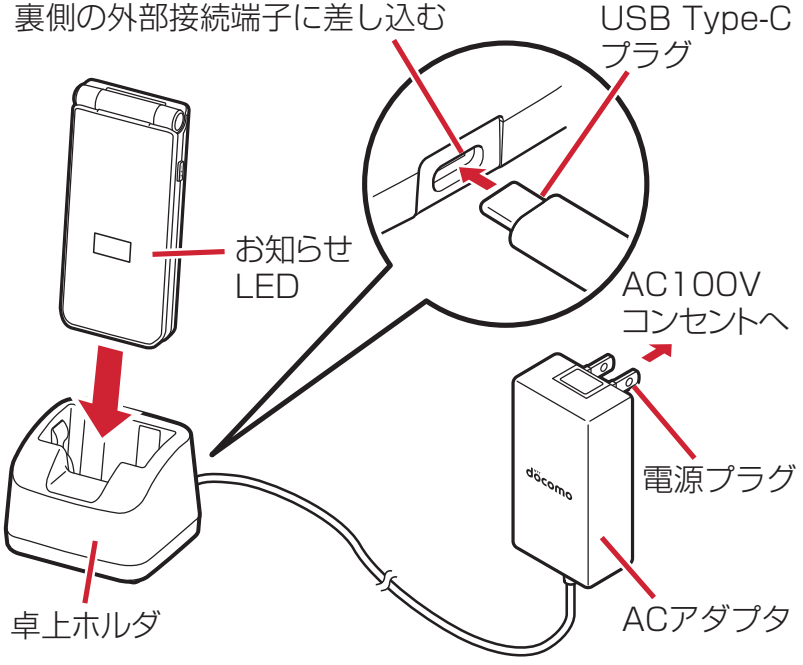
- 端末の向きをよくご確認の上、正しく差し込んでください。無理に差し込むと破損の原因となります。

③ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す

⑤卓上ホルダからACアダプタのUSB Type-Cプラグを抜く



✔お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 卓上ホルダ裏側の外部接続端子は充電専用です。指定のACアダプタ以外は接続しないでください。
- 落としたり、重いものをのせたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。

◆ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 08（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

①ミゾに指先をかけてUSB Type-C接続端子キャップを開ける→P28

②ACアダプタのUSB Type-Cプラグを、USB Type-C接続端子に水平に差し込む

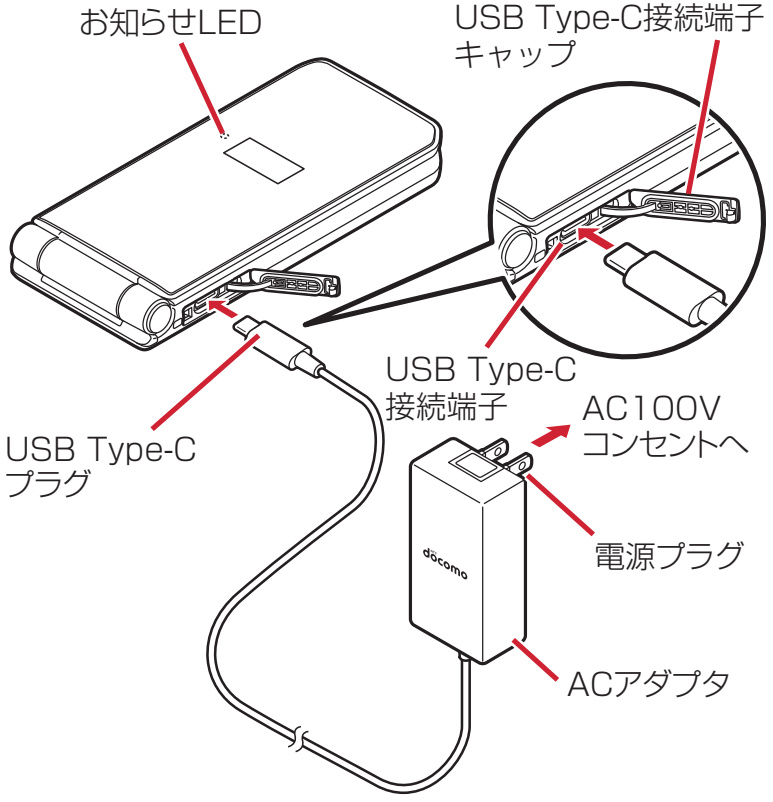
③ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

⑤本端末からACアダプタのUSB Type-Cプラグを水平に抜き、本端末のUSB Type-C接続端子キャップをしっかりと閉じる

- 防水／防塵性能を維持するために、USB Type-C接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。→P27



◆DCアダプタを使って充電

DCアダプタ 05（別売品）は、自動車のアクセサリーソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02（別売品）が必要です。
取り扱いについて詳しくは、DCアダプタ、USBケーブル A to C 02の取扱説明書をご覧ください。

◆パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 02（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、［キャンセル］を選択してください。

電源を入れる／切る

◆電源を入れる

1 [ ](2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P56

◆電源を切る

1 [ ](1秒以上)

2 ［電源を切る］→［OK］

本端末が振動して電源が切れます。

✔お知らせ

- [ ]を3秒以上押しても電源を切ることができます。

文字入力

文字を入力する方法を説明します。

文字入力画面

①カーソル（点滅）
文字が入力または挿入される位置を示します。

②サブメニュー
テキスト編集や定型文の挿入、文字入力設定などができます。

③文字切替
入力モードを切り替えます。ひらがな／漢字、カタカナ、英字、数字の入力モードに切り替えられます。

④入力モード

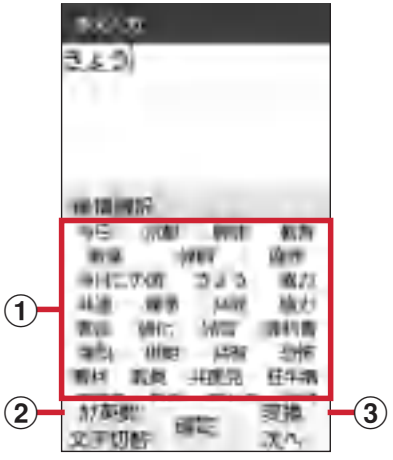
⑤絵文字・記号
絵文字、記号、顔文字、デコメ絵文字®（絵文字D）一覧を表示します。
- アプリや入力項目によっては入力できない場合もあります。

◆文字入力と変換

〈例〉「今日」と入力する

1 「きょう」と入力

- 入力中は次の操作ができます。
  [ ] ：同じキーに割り当てられた文字を1つ前に戻す
  [CLR] ：文字の削除
  [＊] ：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え



①候補選択リスト
②カナ英数
カタカナ、英字、数字、日付、時刻などが一覧で表示されます。
③変換
入力した文字を変換します。続けて押すと変換候補一覧を表示します。

2 [Q]

3 候補選択リストから[今日]を選択→[【閉じる】]

- 候補選択リストのページを切り替えるには、[✉]［↑］または[🌐]［↓］を押します。

学習辞書データの単語削除：[MENU]［学習削除］→［はい］

- ガイド表示領域に［学習削除］と表示された場合のみ、単語を削除することができます。

✔お知らせ

- 文字入力後や削除後に[✎]を1秒以上押すか、[MENU]［サブメニュー］→［元に戻す］を選択すると、1つ前の状態に戻せます。
- 改行するには[✂]を押します。カーソルが文字入力の末尾にある場合は、[Q]を押しても改行できます。
- メール作成画面の本文欄では、[MENU]［サブメニュー］を押すと、デコメ絵文字®の入力や装飾、署名などの挿入ができます。→P75

❖定型文／データ引用による入力

お買い上げ時に登録されている定型文や、自分で登録した定型文を呼び出して入力します。
電話帳から連絡先データを引用して入力することもできます。

1 文字入力画面で[MENU][サブメニュー]→[定型文・データ引用]

2 目的の操作を行う

定型文を入力：[定型文]→定型文を選択

- 定型文一覧で[✎]を押すとカテゴリリストを表示します。登録した定型文は［ユーザ作成］に登録されます。

データ引用：[電話帳]→連絡先を選択→引用するデータにチェック→［OK］

❖絵文字／記号／顔文字の入力

文字入力画面に表示された絵文字、記号、顔文字、デコメ絵文字®（絵文字D）の一覧から選択して入力します。

1 文字入力画面で[📷][絵・記号]

2 [MENU]／[📷]を押して、絵文字／記号／顔文字／絵文字Dの一覧を表示

3 絵文字／記号／顔文字／絵文字Dを選択

- 各一覧で［✓］を押すとカテゴリリストを表示します。

◆文字入力の設定

文字入力の入力時の動作を設定したり、単語登録などを行います。

1 待受画面で［MENU］→［設定］→［言語・文字・入力］→［文字入力設定］

2 各項目を設定

日本語・英語入力予測：候補選択リストを表示するかを設定します。
自動カーソル：カーソルが右側に自動移動する速度を設定します。
単語登録：登録した読みを入力して、変換できるように単語を登録します。→P54
定型文登録：定型文を作成して登録します。→P54
変換学習リセット：学習辞書をリセットします。
バージョン情報：入力ソフトウェアのバージョンを確認します。

❖単語登録

よく使う単語を好きな読みで登録し、登録した読みを入力して変換できるようにしたり、候補選択リストに表示したりします。

- 最大250件登録できます。

1 待受画面で［MENU］→［設定］→［言語・文字・入力］→［文字入力設定］→［単語登録］

2 ［＜新規作成＞］

単語の編集：単語を選択
単語の削除：単語にカーソル→［MENU］［サブメニュー］→［削除］／［全削除］→［はい］

3 単語、読みを入力→［📷］［登録］

❖定型文登録

よく使う言葉や文章を定型文として登録します。

- 作成した定型文はカテゴリ一覧の［ユーザ作成］に登録されます。
- 最大50件登録できます。

1 待受画面で［MENU］→［設定］→［言語・文字・入力］→［文字入力設定］→［定型文登録］

2 [<新規作成>]

定型文の編集：定型文を選択
定型文の削除：定型文にカーソル→MENU［サブメニュー］→［削除］／［全削除］→［はい］

3 定型文を入力→［登録］

◆テキスト編集

文字入力画面、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力画面でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストの切り取り／コピー

- Webサイトでのコピーについて→P90

■文字入力画面での切り取り／コピー

1 MENU［サブメニュー］→［コピー・切取り・貼付け］

2 ［コピー］／［切取り］

3 開始位置を選択

全文選択：［全選択］

4 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取られます。

文頭／文末までの選択：［文頭］／［文末］→●［終点］

❖テキストの貼り付け

1 貼り付ける位置にカーソル→MENU［サブメニュー］→［コピー・切取り・貼付け］→［貼付け］

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

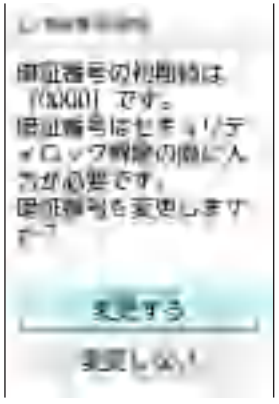
初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

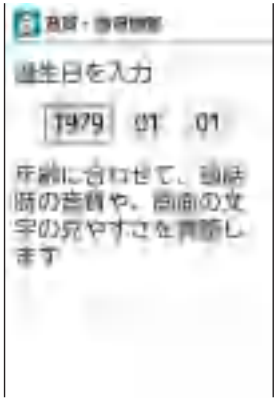
1 「WELCOME!」画面が表示されたら、◉[次へ]

2 暗証番号の設定画面で[変更する]／[変更しない]

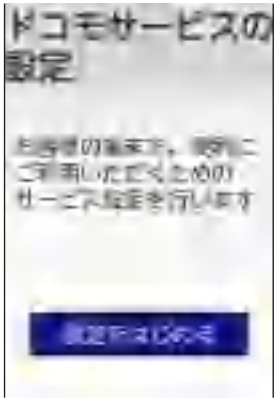
- 変更する場合は、4～8桁の数字を入力してください。



3 音質・画質調整画面で誕生日を設定→[📷][完了]



4 ドコモサービスの設定画面で[設定をはじめる]



5 注意事項などを確認し、[同意して設定する]

6 各サービスを設定する

dアカウント：ドコモアプリで利用するアカウントを設定します。→P57
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチの位置情報サービス機能の設定を行います。

7 [OK]

待受画面が表示されます。

✔お知らせ

- ドコモサービスの設定は、待受画面で MENU →［設定］→［ドコモサービス］を選択しても設定できます。

◆dアカウントの設定

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケット等のドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。
ここでは、新規でアカウントを作成する方法を説明します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[ドコモサービス]→[dアカウント設定]

2 [新たにdアカウントを作成]

- 以降は画面の指示に従って以下の項目を設定してください。
  - 連絡先メールアドレス
  - ID
  - パスワード
  - お客様情報

タスク管理

[ ]を押してアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 [マナー]（1秒以上）

再開可能なアプリが表示されます。

- サムネイルを選択するとアプリを表示できます。
- サムネイルにカーソル→[MENU]［終了］を押すとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには[ ]［全終了］を押します。

電話

電話をかける

1 **待受画面で電話番号を入力**

- 電話番号を訂正する場合は[CLR]を押します。

2 [発信]

発信者番号通知：[MENU]［サブメニュー］→［発信オプション］→［番号通知］→［通知する］／［通知しない］→[MENU]［発信］／[発信]

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

プレフィックス選択：[MENU]［サブメニュー］→［発信オプション］→［プレフィックス］→プレフィックスを選択→[MENU]［発信］／[発信]

- あらかじめ、［プレフィックス設定］（→P70）で登録した番号（プレフィックス）を選択して、電話番号の先頭に付加します。

3 **通話が終了したら[終話]**

✔お知らせ

- VoLTEは、音声通話を高品質でご利用いただけます。
- VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - モバイル ネットワーク設定の［優先ネットワークモード］（→P139）が［4G/3G/GSM（自動）］がONであること
- ［発信者番号通知］（→P69）で通知／非通知を一括設定できます。

◆プッシュ信号の入力

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信できます。

■2秒間の停止「,」を追加

メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 **待受画面で電話番号を入力→[#](1秒以上)→追加番号を入力→[発信]**

外線番号に続いて、2秒間の停止（「,」）1つにつき約2秒間の間隔をとって追加番号をダイヤルします。

- 2秒間の停止（「,」）は連続して入力できます。

■待機「;」を追加

メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し、追加番号の確認メッセージが表示されます。[はい] を選択すると追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力→[✱](1秒以上)→追加番号を入力→[ ]

2 電話がつながったら[はい]

待機（「;」）以降の番号が送出されます。

✔お知らせ

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。

◆短縮ダイヤルで電話をかける

短縮ダイヤルに連絡先を登録することで、簡単な操作で電話をかけることができます。

- あらかじめ短縮ダイヤルに連絡先を登録しておいてください。→P60

1 待受画面で[0]～[9]→[ ]

- 発信確認画面が表示された場合は［はい］を選択してください。

❖連絡先を短縮ダイヤルに登録する

1 待受画面で[MENU]→[電話機能]→[短縮ダイヤル設定]

2 短縮ダイヤルを選択→[電話帳から選ぶ]→連絡先を選択

✔お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録している連絡先を電話帳アプリで編集しても、短縮ダイヤルに登録されている電話番号は更新されません。電話番号を更新したい場合は、再度短縮ダイヤルを登録し直してください。

◆緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。
- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。

◆国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- 海外でのご利用については、「国際ローミング（WORLD WING）の概要」をご覧ください。→P137
- WORLD CALLの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で［0］（1秒以上）→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力→［発信］

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をONに設定している場合、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。［元の番号で発信］または［変換後の番号で発信］を選択します。
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力→［MENU］［サブメニュー］→［発信オプション］→［国際電話発信］→［ON］→［国番号］→国を選択→［MENU］［発信］／［発信］を押します。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、［マナー］を押します。

2 ［発信］

3 通話が終了したら［終話］

■着信中にできる操作

着信拒否：着信中に［MENU］［サブメニュー］→［着信拒否］

- 電話を受けずに切断します。

拒否してSMS送信：着信中に［MENU］［サブメニュー］→［拒否してSMS送信］→メッセージを選択

- 着信を拒否して、選択した拒否メッセージをSMSで送信します。

伝言メモ：着信中に［MENU］［サブメニュー］→［伝言メモ］

- 伝言メモ機能は、お買い上げ時はOFFに設定されています。あらかじめ設定をONにしておくと、電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

①名前や電話番号

②サブメニュー

MENU を押すと、通話メモの録音開始／録音停止、プロフィール／着信履歴／リダイヤル／スケジュール／メモの表示やマスク通話モードの設定が操作できます。

③電話帳

✉ を押すと、電話帳を表示できます。

④高音質表示

VoLTEを利用した高音質通話中の表示です。着信中も表示されます。

⑤通話時間

⑥スピーカーフォンON／OFF

📷 を押すと、スピーカーフォンがON／OFFになります。

⑦ミュートON／OFF

🌐 を押すと、ミュートがON／OFFになります。

⑧保留

● を押すと、保留／保留解除します。

✔お知らせ

- スピーカーフォンで通話するには次の内容にご注意ください。
  - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
  - スピーカーフォンで通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

■通話中にできる操作

通話音量調節：通話中に ◎

- 通話中の受話音量を調節して聞き取りやすくします。

通話メモの録音開始／停止：通話中に MENU ［サブメニュー］→［録音開始］／［録音停止］

- 通話内容を録音して残せます。
- 自動通話メモをONに設定している場合は表示されません。→P66

プロフィール：通話中に MENU ［サブメニュー］→［プロフィール］

- 自分の電話番号など、マイプロフィールに登録した情報を表示します。

着信履歴：通話中に MENU ［サブメニュー］→［着信履歴］

- 着信履歴を表示します。

リダイヤル：通話中にMENU［サブメニュー］→［リダイヤル］
- 発信履歴を表示します。

スケジュール：通話中にMENU［サブメニュー］→［スケジュール］
- カレンダーを表示して予定の作成／編集／確認などができます。

メモ：通話中にMENU［サブメニュー］→［メモ］
- メモを表示して新規作成／編集／確認などができます。

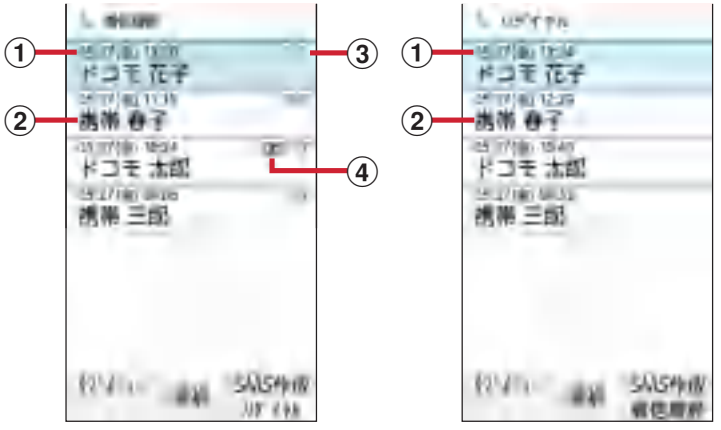
マスク通話モード：通話中にMENU［サブメニュー］→［マスク通話モード］／［あわせるボイス］
- 相手の声が聞こえやすくなるように設定します。

リダイヤル／着信履歴

電話のリダイヤル／着信履歴を確認できます。
- リダイヤル／着信履歴の最大表示件数については、「主な仕様」をご覧ください。→P158

1 待受画面で

履歴画面が表示されます。
- を押すと着信履歴画面、を押すとリダイヤル画面が表示されます。



着信履歴画面　　リダイヤル画面

①発着信日時
②名前や電話番号
③着信／不在着信の表示
④伝言メモの表示

2 履歴にカーソル→

リダイヤル画面／着信履歴画面の切り替え：
［リダイヤル］／［着信履歴］

✔お知らせ

- 履歴画面で履歴を選択すると履歴詳細画面が表示されます。
  履歴詳細画面では MENU ［サブメニュー］を押してメール作成や発信オプションなどの操作を行ったり、 ［SMS作成］を押してSMSを作成したりできます。

◆リダイヤル／着信履歴の削除

1 **履歴画面で履歴にカーソル→ MENU ［サブメニュー］→［履歴削除］**

2 **各項目を操作**

1件削除：［1件削除］→［はい］
選択削除：［選択削除］→削除する履歴にチェック→ ［削除］→［はい］
全件削除：［全件削除］→［はい］

伝言メモと通話メモ

◆伝言メモの利用

伝言メモを利用する設定や録音した伝言メッセージの再生／削除を行います。

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［伝言メモ］**

2 **各項目を設定**

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしていても伝言メモで応答しません。

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択→ ●［再生］を押すと伝言が再生されます。

- 伝言メモを削除する場合は、 MENU ［サブメニュー］→［全件削除］／［1件削除］→［はい］を選択します。
- 伝言メモの最大録音件数、また1件あたりの最長録音時間については、「主な仕様」をご覧ください。→P158

着信呼出設定：着信呼出の時間を設定します。

◆通話メモの利用

あらかじめ通話を録音するように設定したり、録音した通話メモの再生／削除を行います。

- 自動通話メモの設定がOFFの場合、通話中にMENU［サブメニュー］→［録音開始］／［録音停止］を選択して通話メモを利用できます。

1 待受画面でMENU→[電話機能]→[通話メモ]

2 各項目を設定

自動通話メモ：通話メモのON／OFFを設定します。

通話メモリスト：録音した通話メモのリストを表示します。

- 通話メモを削除する場合は、通話メモリスト画面でMENU［サブメニュー］→［全件削除］／［1件削除］→［はい］を選択します。

保存先設定：通話メモの保存先を［本体］／［microSD］から選択できます。

- 保存先が本体の場合は最大50件、1件あたり最大60分まで、保存先がmicroSDの場合は空き容量に応じて保存できます。
- 最大保存可能件数を超えた場合、保護されていない古いものから順に削除されます。

❖通話メモの再生

1 待受画面でMENU→[電話機能]→[通話メモ]→[通話メモリスト]

通話メモリストが表示されます。

2 再生する通話メモを選択

再生画面が表示されます。

- 通話メモのガイドが表示された場合は、［OK］／［次回から表示しない］を選択します。

3 ◉[再生]

通話メモが再生されます。

- 途中で停止する場合は、◉［停止］を押します。

■通話メモ再生画面でのサブメニューの利用

1 通話メモの再生画面でMENU[サブメニュー]

2 各項目を選択

保護設定／保護解除：通話メモの保護／保護解除を設定します。

削除：選択した通話メモを削除します。

スピーカーON／スピーカーOFF：再生時にスピーカーのON／OFFを設定します。

ゆっくり再生／通常再生：再生速度のゆっくり（0.7倍）／通常を設定します。

はやく再生／通常再生：再生速度のはやく（2.0倍）／通常を設定します。

◆迷惑電話対策機能

電話帳に登録していない相手から着信した場合、または電話帳に登録していない相手に発信した通話に還付金詐欺に関する内容が含まれていることを検出した場合は、通話を自動で録音することができます。
着信時には特別な着信音でお知らせし、還付金詐欺の危険性を検出したときは通知音と警告表示でお知らせして、相手には通話を録音する旨の音声メッセージを流します。

- 迷惑メモは1件あたり最大60分、最大50件録音されます。50件を超えると、保護されていない古い迷惑メモから順に上書きされます。残しておきたい迷惑メモは保護してください。
- キャッチホンの利用中は、次の動作になります。
  - 通話中に発信、および着信した場合、本機能は動作しません。
  - 迷惑メモ録音中に別の相手と通話をすると録音が中断されることがあります。
- 通話の内容によっては、迷惑電話であっても機能しない場合や、迷惑電話ではないのに誤って機能する場合があります。
- 還付金詐欺対策機能は、警視庁犯罪抑止対策本部からの助言を参考にFCNT株式会社が開発したものです。

❖迷惑電話対策を開始／停止

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［迷惑電話対策］**

2 **［迷惑電話対策］→［ON］／［OFF］**

機能の説明を読む：［機能説明］→［メッセージ再生］／［次へ］→［着信音再生］／［次へ］→［説明を終わる］

- ［メッセージ再生］／［着信音再生］を選択すると、相手に伝えるメッセージや着信時の音を聞くことができます。

❖録音した迷惑メモの再生

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［迷惑電話対策］→［迷惑メモリスト］**

2 **迷惑メモを選択**

- MENU ［サブメニュー］を押すと、削除や電話発信、電話帳登録の操作ができます。

3 **◉［再生］**

- MENU ［サブメニュー］を押すと、保護の設定や解除、スピーカーON／OFF、ゆっくり再生／はやく再生などの操作ができます。

✔お知らせ

- 迷惑電話対策機能は、海外ではご利用できません。

ドコモ留守電アプリ

留守番電話サービスでお預かりした伝言メッセージを自動でダウンロードし、再生できます。伝言メッセージをテキストで表示することもできます。

- ご利用には留守番電話サービスの開始、およびspモードのご契約が必要です。

1 待受画面でMENU→[電話機能]→[ドコモ留守電アプリ]

伝言メッセージの一覧が表示されます。

- 利用開始にあたっての確認画面が表示された場合は、内容を確認して操作してください。伝言メッセージをテキストで表示する確認画面が表示されますが、設定は利用開始後でも行えます。

2 再生するメッセージを選択→◉[再生]

- [みえる留守電機能設定]を[利用する]に設定していた場合は、メッセージを選択するとテキスト表示されます。

■伝言メッセージ一覧画面でのサブメニューの利用

選択削除：伝言メッセージを選択して削除します。

更新：メッセージダウンロードの機能を[利用する]に設定している場合に、伝言メッセージの一覧を更新します。

設定：次の設定ができます。

- メッセージダウンロード機能利用設定：録音されたメッセージをダウンロードする機能の利用を設定します。
- 海外利用設定：海外でメッセージを受信できるように設定します。同時に[データローミング]の設定（→P139）をONに設定する必要があります。
- みえる留守電機能設定：受信したメッセージを自動的にテキストで表示するように設定します。
- メッセージ自動再生設定：メッセージを選択した際に再生が開始されるように設定します。
- 利用状況レポート設定：ドコモ留守電アプリの利用状況をドコモサーバに送信するように設定します。

アプリ情報：アプリの名前やバージョン、オープンソースライセンスなどを表示します。

ヘルプ：操作方法、ご利用上の注意を表示します。

■メッセージ再生画面でのサブメニューの利用

SMSで返信：SMSを作成して返信します。
エクスポート：選択したメッセージを音声やテキストの状態で、［ファイルに保存］／［メール送信］／［共有］ができます。
保護／保護解除：選択したメッセージを［保護］／［保護解除］します。
フォントサイズ設定：テキストの表示サイズを変更します。
イヤホンで聞く／スピーカーで聞く：録音データの再生を［イヤホンで聞く］／［スピーカーで聞く］に切り替えます。
削除：選択したメッセージを削除します。

発着信・通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

◆ネットワークサービス

次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

1 待受画面で MENU →［電話機能］→［発着信・通話設定］→［ネットワークサービス］

2 各項目を設定

留守番電話サービス：開始／停止、呼出時間設定などを行います。
転送でんわサービス：開始／停止、転送先変更などを行います。
キャッチホン：開始／停止、設定確認を行います。
発信者番号通知：通知設定を行います。
迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。
番号通知お願いサービス：開始／停止、設定確認を行います。
着信通知：開始／停止、設定確認を行います。
英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。
遠隔操作設定：開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：開始／停止、設定確認を行います。

◆海外設定

詳細については「国際ローミングの設定」（→P142）をご覧ください。

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［発着信・通話設定］→［海外設定］**

2 **各項目を設定**

◆着信設定

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［発着信・通話設定］→［着信設定］**

2 **各項目を設定**

着信拒否設定：着信拒否に関する設定を行います。

- 登録外着信拒否：電話帳に未登録の着信を拒否します。
- 非通知着信拒否：非通知からの着信を拒否します。
- 公衆電話着信拒否：公衆電話からの着信を拒否します。
- 通知不可能着信拒否：電話番号を通知できない電話からの着信を拒否します。
- 番号指定拒否：設定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。

呼出動作開始時間設定：電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないように、呼び出し開始時間などを設定します。

応答拒否SMS：応答拒否SMSの編集を行います。

エニーキーアンサー設定：着信中に ✆ 以外のキー（0～9、●、＊、#）を押しても応答できます。

着信中オープン応答：着信時に本端末を開く動作だけで応答できます。

◆発信設定

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［発着信・通話設定］→［発信設定］**

2 **各項目を設定**

サブアドレス設定：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切り子とします。

プレフィックス設定：電話発信時に電話番号の先頭に付加する番号を設定します。

◆その他設定

1 待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[その他設定]

2 各項目を設定

通話音声の自動調整：相手の声が聞こえやすくなるように設定します。
- マスク通話モード：相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。
- あわせるボイス：ONに設定すると、通話音声を自動で聞き取りやすく調整できます。

ドコモへのお問合せ※：総合お問い合わせ先など、ドコモのお問い合わせ先へ発信します。
※nanoSIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

オフィスリンク設定：オフィスリンクの保留転送、プレフィックスを付与する設定を行います。
- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。
- 電話帳を初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。

◆電話帳の登録

1 待受画面で ◎ → 📷 [新規登録]→各項目を設定→ 📷 [登録]

✔お知らせ

- 電話のリダイヤル／着信履歴から電話帳を登録することもできます。
- 待受画面で電話番号を入力→ ● ［登録］を押しても、電話帳を登録できます。

◆電話帳の確認／利用

1 待受画面で[ ]

電話帳リストが表示されます。

①インデックス
五十音順で検索ができます。
②連絡先

2 名前を選択

3 情報を確認

❖電話をかける

1 電話帳リストで連絡先を選択

2 電話番号にカーソル→[●][発信]／[ ]

❖SMSの作成・送信

1 電話帳リストで連絡先を選択

2 電話番号にカーソル→[ ][SMS]→SMSを作成・送信

❖メールの作成・送信

1 電話帳リストで連絡先を選択

2 メールアドレスにカーソル→[●][メール]→[ドコモメール]／[Eメール]／[Exchange]→メールを作成・送信

◆電話帳の削除

1 電話帳リストで削除する連絡先にカーソル→[MENU][サブメニュー]→[連絡先削除]

2 各項目を操作

1件削除：[1件削除] → [はい]
選択削除：[選択削除] →削除する電話帳にチェック→[ ] [確定] → [はい]
全件削除：[全件削除] → [はい]

◆電話帳の編集

1 電話帳リストで連絡先を選択→MENU[サブメニュー]→[連絡先編集]→各項目を編集→📷[登録]

◆グループの利用

1 待受画面でMENU→[電話機能]→[電話帳]→[グループ一覧]

2 MENU[サブメニュー]→[グループ追加]→グループ名を入力→[OK]

グループ名変更：グループにカーソル→MENU[サブメニュー]→[グループ名変更]→グループ名を入力→[OK]

グループの削除：グループにカーソル→MENU[サブメニュー]→[グループ削除]→[OK]

グループの並べ替え：グループにカーソル→MENU[サブメニュー]→[表示位置を上に移動]／[表示位置を下に移動]

グループのメンバを変更：グループにカーソル→MENU[サブメニュー]→[グループメンバ変更]→連絡先にチェック／チェックを外す→📷[確定]

◆電話帳のバックアップ／復元

1 電話帳リストでMENU[サブメニュー]→[SD／SIMカード／共有]

2 項目を選択

SDカードへバックアップ／復元：SDカードバックアップを起動して、連絡先をmicroSDカードにバックアップ／復元できます。→P107

SIMカードから復元：nanoSIMカードから連絡先を復元します。

全件データ送信（共有）：連絡先をドコモメールで送信します。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

◆ドコモメールの作成・送信

1 待受画面で ✉

2 ✉ [新規メール]
メール作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄を選択

4 宛先の追加方法を選択→宛先を入力→ 📷 [確定]
- さらに宛先を追加する場合は ✉ [追加] を押します。
- 宛先を削除する場合は宛先にカーソル→ 🌐 [削除] を押して、画面の指示に従って操作してください。

5 件名入力欄を選択→件名を入力

6 本文欄を選択→本文を入力

7 📷 [送信]
下書き保存：✉ [下書保存]

❖添付ファイル

ドコモメールに静止画や動画などを添付して送信できます。
- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で 🌐 [添付]

2 添付ファイルを選択
写真・画像：撮影した静止画やダウンロードした画像などを添付できます。
動画：動画を添付できます。
電話帳：電話帳に登録されている連絡先を添付できます。
カメラ起動：カメラを起動し、撮影した静止画を添付できます。

その他のファイル：本体やmicroSDカード内のさまざまなファイルを添付できます。
- さらに添付ファイルを追加する場合は[✉]［追加］を押します。
- 添付ファイルを削除する場合は添付ファイルにカーソル→[🌐]［削除］を押して、画面の指示に従って操作してください。

3 [📷]［確定］

❖本文を装飾（デコメール®）

メール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画の挿入などの装飾をして送信できます。

1 メール作成画面で本文欄を選択

2 [🌐]［装飾］→装飾方法を選択→装飾を操作

入力済みの文字の装飾：装飾を開始する位置にカーソル→[MENU]［サブメニュー］→［コピー・切取り・その他］→［範囲選択］→範囲の終点位置を選択→［装飾］→装飾方法を選択→装飾を操作

❖ドコモメール作成画面のサブメニューの利用

1 メール作成画面で[MENU]［サブメニュー］

2 各項目を選択

閲覧に切り替え：ドコモメールのメニューに切り替えます。
プレビュー：作成中のドコモメールをプレビュー表示します。
下書き保存：作成中のドコモメールを送信せずに［未送信BOX］に保存します。
テンプレート：装飾されたデコメール®のテンプレート（ひな形）を使用してデコメール®を作成したり、作成中のドコモメールをテンプレート保存します。
保存せずに終了：作成中のドコモメールを保存せずに、ドコモメールを終了します。

◆クイックメールでメールを作成

クイックメールに連絡先を登録することで、簡単な操作でメールを作成・送信することができます。
- あらかじめクイックメールに連絡先を登録しておいてください。→P76

1 待受画面で[0]～[9]→[✉]［メール］→メールを作成・送信
- 送信確認画面が表示された場合は［はい］を選択してください。

❖連絡先をクイックメールに登録する

1 **待受画面で MENU →[メール]→[クイックメール設定]**

2 **クイックメールを選択→[電話帳から選ぶ]→連絡先を選択**

✔お知らせ

- クイックメールに登録している連絡先を電話帳アプリで編集しても、クイックメールに登録されているメールアドレスは更新されません。メールアドレスを更新したい場合は、再度クイックメールを登録し直してください。

◆ドコモメールの受信

ドコモメールは自動的に受信します。

1 **ドコモメールを自動的に受信**

ステータスバーに通知アイコン（→P39）が表示されます。

2 **待受画面で ● →✉→フォルダを選択→未読のドコモメールを選択**

- 待受画面で ✉ →［受信BOX］→フォルダを選択→未読のドコモメールを選択しても確認できます。
- 受信メール画面では 3 ／ 1 を押して、表示の拡大／縮小ができます。

✔お知らせ

- ドコモメールを自動的に受信しないように設定するには、待受画面で ✉ →［メール設定］→［通信設定］→［自動通信設定］→［毎回確認する］／［OFF］を選択します。

❖メール問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきたドコモメールをセンターに問い合わせて受信できます。

1 **待受画面で ✉（1秒以上）**

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
＋メッセージの詳細については、待受画面で 🔍 を押して＋メッセージを開き、 🌐 ［マイページ］→［ヘルプ］→［使い方ガイド］を確認、またはドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

◆＋メッセージの画面

1 待受画面で

①プロフィール画像
相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

②メッセージ
「メッセージ」画面を表示することができます。

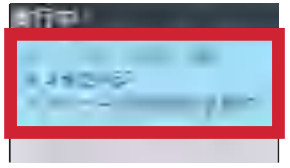
③サブメニュー
サブメニューを表示して、宛先個別の設定をすることができます。

④新規作成
新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

⑤マイページ
マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。

◆ステータスバーの通知

リアルタイムでメッセージを送受信するためにステータスバーに「＋メッセージは有効な状態です」と通知が表示されます。



- 通知アイコンを表示しないように変更する場合は、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［アプリケーション］→［＋メッセージ（SMS）］→［アプリの通知］→［その他］→［重要度］→［低］と操作してください。
- アプリ通知一覧の通知を表示しないように変更する場合は、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［アプリケーション］→［＋メッセージ（SMS）］→［アプリの通知］→［その他］→［ON］と操作してOFFにしてください。

◆メッセージを送信する

1 待受画面で◎

2 [📷][新規作成]→[新しいメッセージ]／[新しいグループメッセージ]

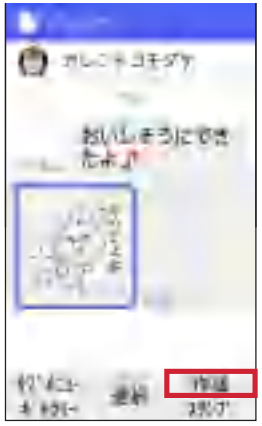
- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

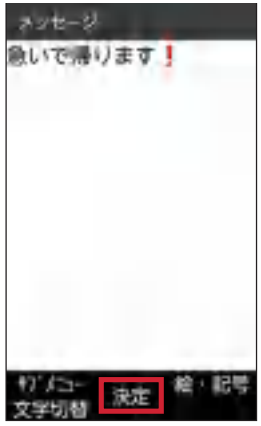
3 宛先を選択

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[検索] を選択し、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[📷] [次へ] を押してください。（＋メッセージを利用している連絡先には が表示されています。）

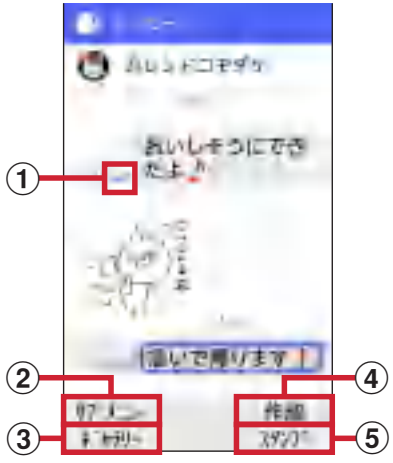
4 [📷][作成]→メッセージを入力→[●][決定]→[📷][送信]

宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。





■メッセージ画面のメニュー



①**メッセージの配信状況**
✓✓：相手がメッセージを閲覧済み
✓：相手が端末にメッセージを受信済み
（アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
✕：メッセージ送信に失敗

②**サブメニュー**
サブメニューを表示します。
- 連絡先の登録や、通知設定の変更、写真や動画の添付などができます。

③**ギャラリー**
画像選択画面へ切り替わります。

④**作成**
メッセージを入力します。

⑤**スタンプ**
スタンプ選択画面へ切り替わります。

❖ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。
携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「*」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

❖＋メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより＋メッセージアプリをご利用いただくには、＋メッセージアプリにて［[海外ローミング時］＋メッセージサービスを利用］をONに設定していただく必要があります（初期設定はOFFに設定されています）。また、本端末の［データローミング］の設定（→P139）をONにしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには＋メッセージアプリを起動し、＋メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

◆メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 **待受画面で**

2 **読みたいメッセージのスレッドを選択**
- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」の操作4（→P78）をご覧ください。

◆メッセージを転送する

1 待受画面で[Q]

2 転送したいメッセージのあるスレッドを選択

3 転送するメッセージにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[メッセージオプション]→[他のメッセージに送信]

4 宛先を選択→[📷][送信]

◆メッセージを削除する

1 待受画面で[Q]

2 削除したいメッセージのあるスレッドを選択

3 削除するメッセージにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[メッセージオプション]→[削除]→[削除]

- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
  なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。

◆スレッドを削除する

1 待受画面で[Q]

2 削除するスレッドにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[削除]

以降は画面の指示に従って操作してください。

- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

◆＋メッセージの設定を変更する

1 待受画面で[Q]

2 [🌐][マイページ]→[設定]

3 項目を選択

メッセージ：メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
写真や動画：送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
テーマカラー・背景：テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
通知：通知に関する設定ができます。
プライバシー：パスコードやブロックなどが設定できます。
その他：ユーザー情報引き継ぎの設定や＋メッセージサービスの初期化などができます。

◆スタンプをダウンロードする

1 待受画面で[Q]

2 [🌐][マイページ]→[スタンプストア]

3 [ランキング]、[NEW]、[カテゴリ]の中からお好みのスタンプを選択→[📷][ダウンロード]

◆スタンプを利用する

1 待受画面で[Q]

2 スタンプを送信したいメッセージのスレッドを選択

3 [🌐][スタンプ]→[MENU][選ぶ]→スタンプを選択

以降は画面の指示に従って操作してください。

Eメール

一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。
- メールアカウントによっては、設定できない場合があります。

1 待受画面で[MENU]

2 [メール]→[Eメール]

3 [新規アカウント]→メールアドレスを入力→[📷][次へ]→パスワードを入力→[📷][自動設定]

以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作3で［手動設定］を選択してアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、待受画面でMENU→［メール］→［Eメール］→MENU［サブメニュー］→［アカウント表示・管理］→MENU［サブメニュー］→［アカウント追加］を選択して操作します。
- Eメールアカウントは3つまで登録可能です。複数のアカウントを登録した場合は、待受画面でMENU→［メール］→［Eメール］を選択するとアカウント一覧が表示されるので、ご利用のアカウントを選択してください。

◆Eメールを作成して送信

1 待受画面でMENU

2 ［メール］→［Eメール］

3 ［メール作成］

4 宛先入力欄を選択→ 宛先の編集方法を選択→宛先を選択・入力

- さらに宛先を追加する場合はMENU［サブメニュー］→［宛先追加］を選択します。

5 件名入力欄を選択→件名を入力

6 本文入力欄を選択→メッセージを入力

7 📷［送信］→［はい］→［閉じる］

✔お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

❖添付ファイル

Eメールに静止画などのファイルを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で添付追加欄を選択

2 添付ファイルを選択

写真：撮影した静止画やダウンロードした画像などを添付できます。
写真（携帯電話向けに縮小）：サイズを縮小した静止画を添付できます。
その他のファイル：音楽や動画、書類などのファイルを添付できます。

◆Eメールの受信／表示

Eメールを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P39）が表示されます。

1 待受画面で●→ⓘ→Eメールの通知を選択

2 新着のEメールを選択

- 待受画面でMENU→［メール］→［Eメール］→［受信メール］→未読のEメールを選択しても確認できます。
- 未読のEメールがある場合は、［受信メール］の右側に（1）のように未読メールの件数が表示されます。

◆Eメールに返信

1 Eメールを表示→📷［返信］

2 メッセージを入力→📷［送信］→［はい］→［閉じる］

◆Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 MENU［サブメニュー］→［メール転送］

3 宛先を入力→メッセージを入力→📷［送信］→［はい］→［閉じる］

◆Eメールを削除

1 Eメールを表示

2 MENU［サブメニュー］→［メール削除］→［はい］→［閉じる］

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖共通の設定

1 待受画面でMENU

2 ［メール］→［Eメール］→［設定］

3 ［アカウント共通の設定］→各項目を設定

■受信設定

メールサイズ制限：受信メールのデータサイズの制限を設定できます。
海外メール自動受信：海外ローミング中にメールを自動で受信するかを設定します。
海外通信時確認ダイアログ：海外ローミング中の通信時に確認ダイアログを表示するかを設定します。

■表示設定

電話帳登録名表示：メール受信時に電話帳に登録した相手の名前を表示するかを設定します。

■その他設定

引用符編集：メール返信時に使用する記号を設定します。
引用返信設定：引用返信を利用するかを設定します。

❖アカウントごとの設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

1 待受画面で MENU

2 [メール]→[Eメール]→[設定]

3 [このアカウントの設定]→各項目を設定

■受信設定

着信音：Eメール受信時の着信音を設定します。
振動：Eメール受信時に本端末を振動させるかを設定します。
着信ランプ：Eメール受信時に着信ランプを点灯させるかを設定します。
受信間隔：Eメールの受信間隔を設定します。

■署名設定

自動署名設定：自動的に署名を挿入するかを設定します。
署名を編集する：Eメールに挿入する署名を編集します。

Exchange

企業内で利用しているExchangeアカウントを設定して、本端末でメールを送受信できます。

◆Exchangeメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のExchangeメールアカウントの設定に必要な情報を入手してください。

1 待受画面で MENU

2 [メール]→[Exchange]

3 メールアドレスを入力→ 📷 [次へ]→パスワードを入力→ 📷 [次へ]

以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、待受画面で MENU →［メール］→［Exchange］→［設定］→［アカウントを追加］を選択します。

- Exchangeメールアカウントは2つまで登録可能です。複数のアカウントを登録した場合は、待受画面でMENU→［メール］→［Exchange］を選択すると、画面上部にアカウント一覧が表示されるので、ご利用のアカウントを選択してください。［統合ビュー］を選択すると複数のアカウントの情報を統合して表示します。

◆Exchangeメールを作成して送信

1 待受画面でMENU

2 ［メール］→［Exchange］

3 📷［新規作成］

4 宛先入力欄を選択→宛先の追加方法を選択→宛先を入力

- さらに宛先を追加する場合はMENU［サブメニュー］→［宛先追加］を選択します。

5 件名入力欄を選択→件名を入力

6 本文入力欄を選択→メッセージを入力→📷［送信］

✔お知らせ

- ファイルを添付する場合は、🌐［添付］→フォルダを選択→ファイルを選択します。
- Exchangeメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Exchangeメールを送信できません。

◆Exchangeメールの受信／表示

Exchangeメールを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P39）が表示されます。

1 待受画面で●→ⓘ→Exchangeメールの通知を選択

2 新着のExchangeメールを選択

- 待受画面でMENU→［メール］→［Exchange］→［受信トレイ］からも確認できます。

◆Exchangeメールに返信

1 Exchangeメールを表示→📷［返信］

- 全員に返信する場合は🌐［全員返信］を選択します。

2 メッセージを入力→📷［送信］

◆Exchangeメールを転送

1 Exchangeメールを表示→[✉][転送]

2 宛先を入力→メッセージを入力→[📷][送信]

◆Exchangeメールを削除

1 Exchangeメールを表示

2 [MENU][サブメニュー]→[削除]→[はい]

◆Exchangeメールの設定

Exchangeメールに関するさまざまな設定をします。

❖全般の設定

1 待受画面で[MENU]

2 [メール]→[Exchange]→[設定]

3 [全般設定]→各項目を設定

自動表示：メールの削除後に表示する画面を設定します。
画像の許可の取り消し：以前許可した送信者からのインライン画像を表示するかを設定します。
送信前に確認する：メール送信時に確認画面を表示するかを設定します。

❖アカウントごとの設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

1 待受画面で[MENU]

2 [メール]→[Exchange]→[設定]

3 アカウントを選択→各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
同期頻度：受信トレイの同期頻度を設定します。同期頻度の間隔を短く設定すると電池の消費が早くなります。
メールを同期する日数：メールを同期する日数を設定します。
フォルダの同期設定：同期するフォルダを設定します。
メールを同期する：このアカウントのメールを同期するかを設定します。
連絡先を同期：このアカウントの連絡先を同期するかを設定します。
添付ファイルのダウンロード：添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
ローミング時の自動同期を許可：ローミング時に自動的に同期するかを設定します。
画像：添付された画像を表示する前に確認するかを設定します。
メール着信通知：メール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

新着通知の設定：メール受信時の通知方法について設定します。
受信設定：受信サーバーについて設定します。
アカウントを削除：アカウントを削除します。

ウェブブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信（LTE／3G／GPRS）による接続でブラウザを利用できます。

◆dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトやお客様サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

1 待受画面で［⊕］→［dメニュー・検索］

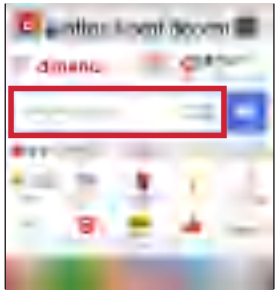
ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、［利用する］を選択してください。

✔お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）によるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続には、別途パケット通信料がかかります。
- dメニューで紹介しているサイトには、一部有料のコンテンツが含まれる場合があります。

❖Webサイトの検索

1 検索欄を選択



2 キーワードを入力→[検索]

◆ブラウザ起動

ブラウザ設定の［ホームページを設定］に設定しているWebサイトを表示します。

1 待受画面で［🌐］→[ブラウザ起動]

Webサイト画面が表示されます。

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、［利用する］を選択してください。

◆Google 検索

検索サイトの Google を表示します。Google を利用してWebサイトを検索できます。

1 待受画面で［🌐］→[Google検索]

Webサイト画面が表示されます。

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、［利用する］を選択してください。

◆URL入力／Web検索

URLやキーワードを入力して、Webサイトを表示／検索できます。

1 Webサイト画面で［MENU］[サブメニュー]→[URL入力／Web検索]

2 URL／キーワードを入力

◆Webサイト表示中のキー操作

Webサイト画面では次のキー操作ができます。

ポインタの移動（マウスモード）：

カーソルの移動（ケータイモード）：

- マウスモード／ケータイモードについて→P89

項目を選択／リンク先へ移動：［●］[選択]

- マウスモード中は、項目やリンクを操作できる場合はポインタが🖐に切り替わります。

画面のスクロール：［✉］[↑]／［🌐］[↓]

表示の拡大／縮小：［3］／［1］

文字サイズの変更：［4］／［6］

音量調節：［7］／［9］

サブメニューの利用：［MENU］[サブメニュー]

前のページに戻る：［CLR］

- 最初のページの場合は、［CLR］→［はい］を選択するとブラウザが終了します。
- ページの読み込み中に［CLR］を押すと読み込みを停止します。

サイト閲覧履歴の表示：［CLR］（1秒以上）

◆マウスモード／ケータイモードの操作

マウスモード：マウスのカーソルと同じように✳で次のポインタを8方向に動かして操作します。

- ▶：通常のポインタです。
- ☝：リンクや画像などの項目を選択できるときに表示されます。
- ●：ドラッグ操作中に画面をドラッグしてスクロールするときなどに表示されます。
- ⇨：ドラッグ操作中にスクロールの始点を選択するときや、ドロップしたときに表示されます。

ケータイモード：携帯電話のキー操作と同じように✳でカーソル枠を移動して操作します。

✔お知らせ

- 文字のコピー時（→P90）や画像のダウンロード時（→P91）でもポインタで操作します。

❖マウスモード／ケータイモードの切り替え

1 **Webサイト画面で📷[マウスモード]／📷[ケータイモード]**

マウスモードでは▶が表示されます。また、ケータイモードでは橙色のカーソル枠が表示されます。

❖ドラッグ操作

マウスモードではドラッグ操作で、表示されていない画面の外をスクロールして表示したり、項目をドラッグ＆ドロップしたりできます。

〈例〉画面をスクロールする

1 **Webサイト画面で●（1秒以上）**

ポインタが●に切り替わります。

- ドラッグ操作を解除するには再度●を1秒以上押します。

2 **✳で●を移動してスクロール操作→●**

ポインタが⇨に切り替わります。

3 **✳で⇨をスクロールする始点に移動→●**

4 **✳で●を移動してスクロール操作→●**

✔お知らせ

- カーソル枠が表示されないなど、ケータイモードでは操作ができないWebサイトの場合はマウスモードに切り替えて操作してください。
- マウスモードでポインタを移動しても画面をスクロールできないときは、ドラッグ操作でスクロールできる場合があります。
- Webサイトによっては、マウスモードでもケータイモードでも操作ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト画面でMENU[サブメニュー]→[新規タブ作成]

新しいタブが開き、ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 既に2件以上のタブを開いている場合は、Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［タブ一覧］→MENU［サブメニュー］→［新規タブ作成］を選択します。

■タブを閉じる

1 Webサイト画面でMENU[サブメニュー]→[タブ一覧]

2 タブにカーソル→📷[閉じる]

- MENU［サブメニュー］→［他のタブを閉じる］を選択すると、カーソルがあたっていないタブを一度にすべて閉じることができます。
- ブラウザを終了すると、すべてのタブが閉じます。

◆ページ内の文字の検索

1 Webサイト画面でMENU[サブメニュー]→[ページ検索]

2 ●[選択]→検索欄に文字を入力→✕

◆文字のコピー

1 Webサイト画面でMENU[サブメニュー]→[テキストコピー]

2 ✳でポインタを選択する範囲の始点の文字に移動→●[選択]

3 終点を選択

- を押して範囲を変更できます。
- [始点／終点] を押すごとに、テキスト範囲の始点／終点が切り替わります。

◆便利な機能

画像をダウンロードしたり、リンクを新しいタブで表示したりできます。

■画像をダウンロードする

1 Webサイト画面で MENU [サブメニュー]→[画像保存モード]

画像保存モードに切り替わります。

2 でポインタを画像に移動→ [選択]

画像がダウンロードされます。

- 画像を選択できる場合はポインタが に切り替わります。
- [表示・再生] を選択するとダウンロードした画像を表示できます。
- [ダウンロード履歴] を選択するとダウンロード履歴一覧画面を表示できます。

■リンクを操作する

1 Webサイト画面でリンクにカーソル／ でポインタをリンクに移動→ MENU [サブメニュー]→[選択中のリンク]

- マウスモード中は、リンクを操作できる場合はポインタが に切り替わります。

2 各項目を操作

リンクを新しいタブで表示：[新しいタブで開く]

リンク先のWebページを保存：[リンク先を保存]

保存したWebページは、オフラインで閲覧することができます。

URLをコピー：[URLをコピー]

◆ブックマーク

❖ブックマークの登録

1 Webサイト画面で MENU [サブメニュー]→[ブックマークへ登録]

ブックマークの新規登録画面が表示され、タイトル、登録先（フォルダ）などを変更できます。

2 [保存]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［ブックマーク一覧］

ブックマーク画面が表示されます。

2 ブックマークを選択

編集：MENU［サブメニュー］→［編集・移動］→各項目を設定→📷［保存］

削除：ブックマークにカーソル→MENU［サブメニュー］→［削除］／［全件削除］→［はい］

✔お知らせ

- ブックマーク画面でMENU［サブメニュー］を押すと、ブックマークを新しいタブで開いたり、フォルダ管理などの操作ができます。
- 待受画面で🌐を1秒以上押すか、MENU→［Web］→［ブックマーク］を選択しても、ブックマーク画面を表示できます。お買い上げ時はお気に入り機能ボタンの2を押しても表示できます。

❖ブックマークの移行

■これまでお使いの携帯電話／スマートフォンから本端末への移行

- これまでお使いの携帯電話／スマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 これまでお使いの携帯電話／スマートフォンでブックマークのURLをテキストコピー→メモに貼り付けて登録

2 これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのSDカードバックアップでメモをmicroSDカードにバックアップ

3 バックアップしたmicroSDカードを本端末に取り付ける→SDカードバックアップでメモを復元

- microSDカードの取り付けかたについて→P45
- メモの復元について→P108

4 復元したメモを確認→URLをテキストコピー

- メモの確認について→P105
- テキストコピーについて→P55

5 ブラウザを起動し、コピーしたURLのテキストを貼り付けてサイトを表示

- ブラウザにURLを入力するには→P88
- テキストの貼り付けについて→P55

6 ブックマークを登録

- ブックマークの登録について→P91

■本端末から別の端末への移行

- 移行先の携帯電話／スマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本端末でブックマークからサイト表示

- ブックマークからWebサイトを表示するには→P92

2 URLをテキストコピー

- URLを選択するには→P88
- テキストコピーについて→P55

3 コピーしたURLをメモに貼り付けて登録→SDカードバックアップでメモをmicroSDカードにバックアップ

- メモの登録について→P105
- テキストの貼り付けについて→P55
- メモのバックアップについて→P108

4 バックアップしたmicroSDカードを移行先の携帯電話／スマートフォンに取り付ける→SDカードバックアップでメモを復元→復元したメモのURLをテキストコピー

5 コピーしたURLでWebサイトを表示→ブックマークを登録

◆サイト閲覧履歴

1 ブックマーク画面で［📷］［履歴］

サイト閲覧履歴画面が表示されます。

- 再度［📷］［ブックマーク］を押すとブックマーク画面に戻ります。

2 履歴を選択

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］を選択します。

✔お知らせ

- サイト閲覧履歴画面で［MENU］［サブメニュー］を押すと、履歴を新しいタブで開いたり、履歴の削除などの操作ができます。

◆ブラウザ設定

1 待受画面で [🌐] →[ブラウザ設定]

2 各項目を設定

ホームページを設定：「ブラウザ起動」を操作したときや新しいタブを表示したときに表示されるWebページのURLを登録します。
画像の読み込み：Webページに画像を表示するか設定します。
ファイル保存先：ファイルの保存先を設定します。
プライバシーとセキュリティ：利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
ユーザー補助：テキストの倍率や最小フォントサイズなど画面表示について設定します。
高度な設定：サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。

◆ダウンロード履歴の表示

ダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 Webサイト画面で [MENU] [サブメニュー] →[ダウンロード]

2 履歴を選択

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、オートフォーカスロック音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音が鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了します。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、本端末の動きを検出して自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影スタイル

本端末を開いて撮影を行います。

◆カメラの撮影画像サイズ

次の撮影画像サイズを設定できます。

■静止画

- 8メガ最高画素 3264×2448（4：3）
- 6メガワイド 3264×1840（16：9）
- SNS 2048×1536（4：3）
- 画面ぴったり 1920×1080（16：9）
- ケータイメール 640×480（4：3）

■動画

- HD 1280×720（16：9）
- ケータイメール 640×480（4：3）

✔お知らせ

- 1件のドコモメールで送受信できるファイルサイズは、本文や添付ファイルなどを含めて最大10MBまでです。そのため、動画を添付したい場合は、撮影後の保存サイズにご注意ください。

◆撮影画面の見かた

撮影画面

①顔検出枠
- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。

②シャッター

③設定
- 静止画撮影・動画撮影の各種設定ができます。

④ズーム
ズームしたときにズームイン／ズームアウトの状態を表示します。

⑤アルバム
撮影した静止画・動画を表示・再生します。

✔お知らせ
- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［切り替え］／［いいえ］を選択します。

静止画撮影

1 待受画面で［📷］
静止画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→［●］［撮影］
シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■静止画撮影画面の主な操作

オートフォーカスの手動起動：［✓］
- ピントが合うとピント位置が固定され、フォーカス枠が緑色に変わりオートフォーカスロック音が鳴ります。

ズーム：［◎］

撮影した静止画の表示：［📷］［アルバム］
- 撮影前に押した場合は、静止画の一覧が表示されます。

◆静止画のオート撮影機能

静止画撮影時、次の機能については本端末が自動的に調整します。

■オートフォーカス

被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。
- 手動でオートフォーカスを起動してピントを合わせることもできます。→P97

■ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して撮影できます。

■自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。

■ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆静止画の撮影設定

静止画撮影画面で MENU を押すと、次の操作ができます。

■カメラモード切り替え

カメラ／ビデオ／QRコードからカメラモードを選択します。

■サイズ選択

撮影画像サイズを選択します。

■保存先選択

静止画データの保存先（本体／microSDカード）を選択します。

■セルフタイマー

シャッター操作をしてから3秒後、5秒後、10秒後に撮影されるように設定できます。

■位置情報

撮影した画像への位置情報付与を設定します。

動画撮影

1 待受画面で [📷]

2 [MENU] [設定]→[モード]→[ビデオ]

動画撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→[●] [録画]

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 [●] [停止]

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ（約4GB）になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止します。

■動画撮影画面の主な操作

ズーム※：[◎]

撮影した動画の再生：[📷] [アルバム]

- 撮影前に押した場合は、動画の一覧が表示されます。

※録画中も操作できます。

◆動画のオート撮影機能

動画撮影時、次の機能については本端末が自動的に調整します。

- 録画音声は常にONの状態です。

■オートフォーカス

画面中央の被写体の動きを検出してピント合わせを行います。

■ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆動画の撮影設定

動画撮影画面で[MENU]を押すと、次の操作ができます。

■カメラモード切り替え

カメラ／ビデオ／QRコードからカメラモードを選択します。

■サイズ選択

撮影画像サイズを選択します。

■保存先選択

録画データの保存先（本体／microSDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、録画中は録画を停止します）。

QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

◆QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- 被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。手動でオートフォーカスを起動してピントを合わせることもできます。→P100
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 待受画面で [カメラ]

2 [MENU] [設定]→[モード]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

オートフォーカスの手動起動：[●] [AF]

4 読み取りデータを確認

データのコピー：読み取り結果画面で [MENU] [サブメニュー] → [コピー]

◆QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話をかける：電話番号を選択→[発信]

電話番号を電話帳に登録：電話番号を選択→[●] [登録] →電話帳を登録

メールの作成：メールアドレスを選択→メールを作成

Webサイトに接続：URLを選択

ツール／アプリ

歩数・活動量計

身長・体重などの基礎情報を登録して、歩数や移動距離、活動量、消費カロリーなどを測定します。

1 待受画面で MENU →［ツール］→［歩数・活動量計］→［利用する］

身長、体重などを入力する初期設定画面が表示されます。

2 各データを入力→ 📷［確定］

測定が開始され、次回より歩数、距離、活動量、消費カロリー、脂肪燃焼量の測定結果画面が表示されます。

- ●［切替］を押して各項目の詳細画面が表示されます。
- MENU［サブメニュー］→［一週間のグラフで表示］／［日ごとの履歴を表示］を選択して表示を切り替えることができます。
- 切り替えた画面で CLR を押すと、測定結果画面に戻ります。

✔お知らせ

- 測定結果画面で ◎ を押して日ごとの測定結果画面を表示できます。
- 測定結果画面のサブメニューで［歩数計・活動量計を設定する］を選択して、［利用する］／［利用しない］を設定できます。
- 測定結果画面のサブメニューで［メールで送る］を選択して、日ごとの測定結果をメールで送信できます。

ミュージック

本体メモリ／microSDカードに保存した楽曲データやプレイリストを再生します。

- このアプリで再生できるデータについては、「主な仕様」をご覧ください。→P158

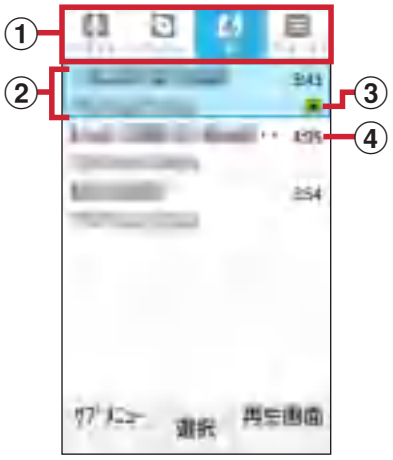
◆楽曲の再生

1 待受画面で MENU →［音楽］

アーティスト／アルバム／曲／プレイリストの各タブに分かれた楽曲一覧画面が表示されます。

2 ◎ で［曲］タブを選択→楽曲データを選択

選択した楽曲が再生されます。



曲の一覧画面

①カテゴリタブ
- でタブを切り替えます。

②楽曲名・アーティスト名
③再生中／一時停止中の曲
④曲の再生時間

■再生画面の見かた

曲の再生画面

①アルバムジャケット
②楽曲名
③アルバム名
④アーティスト名
⑤再生経過時間
⑥シャッフル
：シャッフルOFF　：シャッフルON
⑦リピート
：リピートOFF　：1曲リピート
：全曲リピート
⑧：再生中　：一時停止中
⑨再生完了時間

■再生中の操作

音量調節：
頭出し／前の楽曲データの再生：／再生時間約0秒で
次の楽曲データの再生：

早戻し：[◀◀]（1秒以上）
早送り：[▶▶]（1秒以上）
バックグラウンドで再生：再生中に[ー]→［はい］

◆プレイリストの作成

1 楽曲一覧画面で楽曲を選択→[MENU][サブメニュー]→[プレイリストに追加]

2 [新規]→プレイリスト名を入力→[保存]

作成したプレイリストに保存されます。

❖プレイリストの編集

1 プレイリストの一覧画面で編集するプレイリストにカーソル→[MENU][サブメニュー]

2 各項目を選択

再生：プレイリストを再生します。
削除：プレイリストを削除します。
名前を変更：プレイリスト名を変更します。

✔お知らせ

- プレイリストタブでプレイリストを選択して、楽曲一覧画面で楽曲にカーソル→[📷]［移動］→[◎]を押して移動→[📷]［確定］を押すと、再生順を変更できます。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

- 初回起動時に「利用許諾」の確認画面や「クラウドサービスの利用」に関する画面が表示されます。内容を確認して操作してください。

1 待受画面で[MENU]→[ツール]→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。
- ✓のついた日付にスケジュールが登録されています。

◆スケジュールの登録

1 カレンダー画面で[📷][新規作成]

2 各項目を設定→[📷][保存]

スケジュールが登録されます。
- 待受画面で登録したい日付を入力（例：7月31日の場合は「0731」）→[📷]［スケジュール］を押すと、入力した日付の予定登録画面が表示されます。

❖通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時の背面ディスプレイに通知画面を表示してお知らせします。
- いずれかのキーを押すと鳴動が停止します。

◆スケジュールの削除

登録したスケジュールを削除します。

1 **カレンダー画面で日付を選択→スケジュールを選択**

2 **[MENU][サブメニュー]→[1件削除]→[削除する]**

アラーム

目覚ましなどの特定の時刻をお知らせします。

- アラームは最大10件登録できます。

◆アラームの設定

1 **待受画面で[MENU]→[ツール]→[アラーム]**

アラーム一覧画面が表示されます。

2 **登録するアラームを選択→時刻を入力→[●][決定]→各項目を設定→[📷][完了]**

アラームが設定されます。

アラームのON／OFFを切り替え：アラームにカーソル→[📷][ON／OFF]

❖アラームの時刻になると

設定した時間に通知画面を表示してお知らせします。

- 約1分間何も操作しない、またいずれかのキー（[◎]や[⌐]以外）を押すと鳴動が停止し、スヌーズ（5分後に再度鳴動）へ移行します。
- 通知画面の操作は次のとおりです。
  - [スヌーズ]：スヌーズ状態のまま元の画面に戻ります。スヌーズを解除する場合は、アラーム一覧画面でスヌーズを解除したいアラームにカーソル→[📷][ON／OFF]を押してください。
  - [停止]：スヌーズを解除して元の画面に戻ります。
- スヌーズは最長で30分後まで動作が続きます。

メモ

文字を入力してメモを保存できます。

◆メモの登録

1 待受画面で MENU →[ツール]→[メモ]
メモ一覧画面が表示されます。

2 📷 [新規作成]

3 各項目を入力→ 📷 [保存]

◆メモの確認

1 メモ一覧画面でメモを選択
メモ詳細画面が表示されます。
• 📷 ［編集］を押すとメモを編集できます。

❖メモ一覧画面のサブメニューの利用

1 メモ一覧画面で MENU [サブメニュー]

2 各項目を選択
新規作成：新しいメモの作成画面を表示します。
表示条件：表示条件を選択して表示するメモを検索します。
優先表示：選択したメモを一覧で優先して上位に表示するよう設定します。
スケジュールへ：カレンダー画面を表示します。
削除：［1件削除］／［選択削除］／［全件削除］を選択できます。
設定：クラウドと同期、クラウド設定のほか、ヘルプやアプリ情報を表示します。

◆メモの削除

1 メモ一覧画面でメモを選択
メモ詳細画面が表示されます。

2 MENU [サブメニュー]→[1件削除]→[OK]

ボイスレコーダー

商談や会議の音声メモとして利用できます。

◆音声の録音

1 待受画面で MENU →[ツール]→[ボイスレコーダー]
録音画面が表示されます。

2 ● [開始]
開始音とともに音声の録音を開始します。

3 ●[停止]

停止音が鳴り、録音データが保存されます。

◆録音データの再生

1 録音画面で [再生]

録音データの一覧が表示されます。

2 再生するデータを選択→●[再生]

■再生中の操作

再生の一時停止／再生：● [休止] ／● [再生]
再生の停止： [停止]
スピーカーのON／OFF：MENU
早戻し／早送り：／

✔お知らせ

- 録音データの一覧でMENU［サブメニュー］を押すと、次の操作ができます。
  表示切替：一覧をリスト表示とグリッド表示に切り替えます。
  送信：選択したデータをドコモメールなどで送信できます。
  移動・コピー：microSDカードを取り付けている場合に、録音データを保存先（本体／microSDカード）から移動・コピーできます。
  1件削除：選択したデータを削除します。
  選択削除：一覧に戻ってデータを選択してから削除します。
  ソート：保存日時、タイトル、ファイルサイズによりデータの並び順を変更できます。
  登録：選択した録音データを［音声着信音］または［通知音］に登録します。
  メモリ使用状況：本体とmicroSDカードのメモリ使用状況を確認できます。メモリの空きが少ないときは、空き容量を増やすこともできます。
  詳細情報：選択したデータの詳細情報を表示します。

電卓

1 待受画面でMENU→[ツール]→[電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去： [←]
数式をすべて消去：CLR
数字や数式のコピー： [コピー]

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。CLRを押して計算結果を消去できます。

お知らせタイマー

指定した時間が経過したことをタイマー音などでお知らせします。

1 待受画面で MENU →[ツール]→[お知らせタイマー]→時間を入力→ ● [開始]

カウントダウンが始まります。

- 待受画面で時間（分）を入力→ 🌐 ［タイマー］を押しても開始できます。
- ● ［中断］を押してタイマーを中断することができます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに「時間です」と表示され、タイマーが鳴動します。本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知が表示されます。

- 約1分間何も操作しない、またはいずれかのキーを押すとタイマーが停止します。なお、お気に入り機能ボタンの 1 2 3 および マナー を押しても鳴動停止の動作となり、「お気に入り機能ボタン」（→P123）で設定している機能は動作しませんのでご注意ください。

✔お知らせ

- 通話中に指定した時間になると、通知音が鳴りタイマーの画面が表示されます。

SDカードバックアップ

microSDカードを利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップ／復元ができます。

- microSDカードへバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
  - 電話帳
  - ドコモメール
  - 画像
  - 動画
  - 音楽データ
  - 通話履歴
  - スケジュール／メモ
- microSDカードへのバックアップでは、本体メモリに保存されているデータのみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 待受画面で MENU →[ツール]→[SDカードバックアップ]

初めて利用する場合は、「使用許諾規約」に同意いただく必要があります。

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

◆データをmicroSDカードにバックアップ

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 SDカードバックアップ画面で[バックアップ]

2 バックアップするデータカテゴリを選択

3 [📷][開始]→[開始する]

4 [●][TOP]

✔お知らせ

- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていない電話帳はコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

◆データを本端末に復元

- あらかじめデータのバックアップを行ったmicroSDカードを挿入しておいてください。
- 電話帳を復元する場合は、電話帳コピーツールやｉモード端末のmicroSDカードへバックアップする機能で作成したファイルも復元できます。

1 SDカードバックアップ画面で[復元]

2 復元するデータカテゴリの[選択]

3 バックアップファイルを選択→[📷][設定]

4 [追加]／[上書き]

5 [📷][開始]→[開始する]

6 [●][TOP]

✔お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。

設定

設定メニュー

待受画面でMENU→［設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー	ショートカット	参照
音・バイブ・LED	8 1	P109
画面	8 2	P111
電池	8 3	P112
通信・機内モード	8 4	P112、P139
セキュリティ	8 5	P116
言語・文字・入力	8 6	P54、P122
便利機能	8 7	P123
ドコモサービス	8 8	P123
端末管理	8 9	P124

音・バイブ・LED

音量や着信音などの設定を行います。

1 待受画面でMENU→［設定］→［音・バイブ・LED］

2 各項目を設定

音量：設定方法→P110
マナーモード：設定方法→P110
着信音：電話着信音を設定します。
- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

通知音：通知音を設定します。
着信バイブ：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
- マナーモード中は設定できません。

充電開始音：充電開始時に音でお知らせするかを設定します。
キー確認音：キーを押したときに音を鳴らすかを設定します。
開閉音：本端末を開閉したときに音を鳴らすかを設定します。
イヤホンマイク入力：マイク付きのイヤホンを取り付けた場合、音声入力時に本端末／イヤホンのどちらのマイクを使用するかを設定します。
通知LED：不在着信などをお知らせLEDの点滅でお知らせするかを設定します。

LEDの詳細設定：不在着信、本端末を閉じたときのお知らせLEDの色を設定します。
キーバックライト：キーのバックライトを点灯するかを設定します。

◆音量

メディア再生音、着信音と通知音、アラームの音量を調節できます。
• マナーモード中は設定できません。

1 **待受画面で MENU →[設定]→[音・バイブ・LED]→[音量]**

2 **で項目を選択→ でスライダーをスライドして音量を調節→[OK]**

◆マナーモード

マナーモードを設定／解除します。
• マナーモードの種類は変更できます。→P110

1 **待受画面で MENU →[設定]→[音・バイブ・LED]→[マナーモード]**

2 **[マナーモード]→[ON]／[OFF]**

マナーモードを設定すると、ステータスバーに（通常マナー）／（サイレントマナー）／（アラームONマナー）が表示されます。

✔お知らせ

• 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
- 待受画面の表示中に # を1秒以上押す
- 本端末を閉じている状態で マナー を1秒以上押す
- オプションメニューが表示されるまで を押し続ける→［通常マナー］※→［OK］

※ 設定しているマナーモードによっては、［サイレントマナー］／［アラームONマナー］が表示されます。

• 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、オートフォーカスロック音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音が鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 **待受画面で MENU →[設定]→[音・バイブ・LED]→[マナーモード]→[マナーモード選択]**

2 **項目を選択**

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもOFFになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

画面

画面の明るさや壁紙などの設定を行います。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］

2 各項目を設定

待受：設定方法→P111
ロック画面壁紙：設定方法→P111
カラーテーマ：待受画面などのカラーテーマを設定します。
画面の明るさ：設定方法→P111
画面消灯時間：設定方法→P111
あわせるビュー：年齢による視認性の変化に合わせて、画面の色を見やすく調整するかを設定します。

- 年齢は、初期設定（→P56）か、［便利機能］の［音質・画質調整］（→P123）で設定します。

◆待受画面のカスタマイズ

待受画面の壁紙を変更したり、時計・カレンダー表示、歩数計の表示を設定したりします。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］→［待受］

2 ［壁紙］／［時計・カレンダー］／［歩数計表示設定］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

◆ロック画面の壁紙設定

ロック画面の壁紙を設定します。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］→［ロック画面壁紙］

2 ［設定なし（待受壁紙）］／［プリインストール］／［アルバム］

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

◆画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］→［画面の明るさ］

2 でスライダーをスライドして明るさを調整→［OK］

◆画面消灯時間

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］→［画面消灯時間］

2 時間を選択

電池

電池残量の確認などを行います。

1 待受画面で MENU →[設定]→[電池]

2 各項目を設定

エコモード：設定方法→P112
電池の使用量：電池残量などを表示します。

◆エコモード

エコモードにすることで電池の消費を抑えることができます。

- エコモードをONにすると、ステータスバーに が表示されます。

1 待受画面で MENU →[設定]→[電池]→[エコモード]

2 [エコモード]→[ON]

3 [自動エコモード起動]→項目を選択

通信・機内モード

◆データ使用量

データ使用量を確認したり、データセーバーを設定したりします。

1 待受画面で MENU →[設定]→[通信・機内モード]→[データ使用量]

2 各項目を設定

モバイルデータ使用量：[請求期間] で設定した期間のモバイルデータ使用量を表示します。
データセーバー：アプリのバックグラウンドでのデータ通信を制限します。[データ無制限アクセス] を選択すると、データ通信を制限しないアプリを設定できます。
モバイルデータ：設定方法→P113
モバイルデータ使用：[請求期間] で設定した期間のモバイルデータ使用量をグラフで表示します。また、アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。
請求期間：データの請求期間（測定期間）、データ使用量の警告値や上限値を設定できます。

✔お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。
  - ahamoプラン以外をご契約のお客様

ご利用のデータ使用量はMy docomoからご確認いただけます。
- ahamoプランをご契約のお客様
ご利用のデータ使用量はahamoのホームページからご確認いただけます。

• データ使用量が指定の上限に達したときは、モバイルデータ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。モバイルデータ通信を再開するには［再開］を選択します。

◆モバイル ネットワーク

モバイルデータ通信に関する設定を行います。

1 **待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]**

2 **各項目を設定**

モバイルデータ：設定方法→P113
データローミング：設定方法→P139
データ使用量：モバイルデータ使用量をグラフで表示します。また、アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。
優先ネットワークモード：設定方法→P139
自動的に選択：設定方法→P139
ネットワーク：利用するネットワークを設定します。
• ［自動的に選択］がONの場合は設定できません。
アクセスポイント名：設定方法→P113

❖モバイルデータ

モバイル ネットワーク経由のインターネットアクセス（パケット通信）をON／OFFにします。

1 **待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]**

2 **[モバイルデータ]→[ON]／[OFF]**

✔お知らせ

• アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。必要に応じて［モバイルデータ］のON／OFFを切り替えてください。

❖アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spmode.ne.jp）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
https://www.mopera.net/

- テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P115

■利用中のアクセスポイントの確認

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]→[アクセスポイント名]

APNの一覧画面が表示されます。利用中のアクセスポイントには◉が表示されています。

■アクセスポイントの追加

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 MENU[サブメニュー]→[新しいAPN]

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→MENU[サブメニュー]→[保存]

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 MENU[サブメニュー]→[初期設定にリセット]

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントにカーソル→📷［編集］→MENU［サブメニュー］→［APNを削除］を選択すると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

❖USBテザリング

本端末をUSBケーブル A to C 02（別売品）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02で接続

USB接続の用途画面が表示されます。

2 [USBテザリング]→[USBテザリング]→[ON]／[OFF]

✔お知らせ

- Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

◆機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、テザリング）が無効になります。

1 待受画面で MENU →[設定]→[通信・機内モード]

2 [機内モード]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- [ ]（1秒以上）→［機内モード］を選択しても、機内モードを設定／解除できます。

セキュリティ

セキュリティに関するさまざまな設定を行います。

1 待受画面で MENU →［設定］→［セキュリティ］

2 各項目を設定

ロック：画面のロック機能を選択します。
クローズロック：設定方法→P118
無操作ロック：設定方法→P118
端末認証方法：画面ロックの解除時など、認証操作に使用する暗証番号／パスワードを設定します。
暗証番号（数字）：設定方法→P119
パスワード（英数字）：設定方法→P119
パスワード表示：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。
暗号化設定：本端末およびmicroSDカードを暗号化します。
端末の暗号化：設定方法→P120
SDカードの暗号化：設定方法→P120
情報セキュリティ：設定方法→P121

◆本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、本書巻末のお問い合わせ先までご相談ください。

❖画面ロック用暗証番号／パスワード

画面ロックの解除時に認証操作を必要とすることで、本端末のセキュリティを確保することができます。設定できる認証操作の種類には、4～8桁の数字を設定する暗証番号、4～16桁の英数字と記号で設定するパスワードがあります。→P119

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P122
PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- nanoSIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、nanoSIMカードを取り外すことで待受画面が表示されるようになります。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK）は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード（PUK）はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回連続して間違えると、nanoSIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- nanoSIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、nanoSIMカードを取り外すことで待受画面が表示されるようになります。

◆ロック

本端末のロックには、クローズロックと無操作ロックの2つの機能があります。

- ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、本端末を開いて暗証番号／パスワード入力画面でMENU［緊急発信］→緊急通報番号を入力し、を押します。

❖クローズロック

本端末を閉じるたびにキー操作がロックされます。本端末を開くたびに認証操作が必要なため、他人が不正に本端末を使用するのを防げます。

- クローズロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話を受ける操作、メール受信、アラームの鳴動停止など、一部の機能が利用できます。

1 待受画面でMENU→［設定］→［セキュリティ］→［ロック］→［クローズロック］

2 暗証番号またはパスワードを入力→●［決定］

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 ［クローズロック］→［ON］

4 ［ロック起動時間］→画面ロックが起動する時間を選択

✔お知らせ

- ロック解除時の暗証番号／パスワードの設定は変更できます。→P119
- クローズロックがONの場合に電源を入れ直すと、本端末を閉じていなくてもクローズロックが起動し、暗証番号／パスワード入力画面が表示されます。
- 無操作ロックが起動している場合、クローズロックを設定しても起動しません。

❖無操作ロック

設定時間内に無操作だった場合に、キー操作を自動でロックします。解除するたびに認証操作が必要なため、他人が不正に本端末を使用するのを防げます。

- 動画再生や電話の着信／発信／保留／通話中、ソフトウェア更新機能を起動中の場合はロックがかかりません。
- 経過時間内に起動する機能によっては、経過時間にロックがかからなかったり、設定した時間よりもロックがかかるまでに時間がかかったりする場合があります。
- 無操作ロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話を受ける操作、メール受信、アラームの鳴動停止など、一部の機能が利用できます。

1 待受画面でMENU→［設定］→［セキュリティ］→［ロック］→［無操作ロック］

2 暗証番号またはパスワードを入力→◉[決定]

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 [無操作ロック]→[ON]

4 [ロック起動時間]→画面ロックが起動する時間を選択

✔お知らせ

- ロック解除時の暗証番号／パスワードの設定は変更できます。→P119
- 無操作ロックがONの場合に電源を入れ直すと、無操作ロックが起動し、暗証番号／パスワード入力画面が表示されます。
- クローズロックが起動している場合、無操作ロックを設定しても起動しません。

◆端末認証方法の設定

画面ロックの解除時など、認証操作に使用する暗証番号／パスワードを設定します。

1 待受画面でMENU→[設定]→[セキュリティ]→[端末認証方法]

2 暗証番号またはパスワードを入力→◉[決定]

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 項目を選択

暗証番号（数字）：暗証番号（4～8桁の数字）でロックを解除するように設定します。
パスワード（英数字）：パスワード（4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

4 📷[登録]→[OK]

❖画面ロックをかける

ロック（クローズロック／無操作ロック）（→P118）と端末認証方法（暗証番号／パスワード）（→P119）を設定した後に、本端末を閉じる、または操作を行わずに［無操作ロック］で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、いずれかのキーを押してスリープモードを解除し、認証操作を行います。

✔お知らせ

- 画面ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- 画面ロックが解除されなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→P118
- 端末認証方法の暗証番号／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

◆暗号化設定

本端末やmicroSDカードを暗号化します。

❖端末の暗号化

端末にあるすべてのデータ（設定、アプリを含む）を暗号化します。暗号化後は電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードでの復元が必要となる場合があります。
暗号化を解除するには、本端末の初期化が必要です。

1 待受画面で MENU →[設定]→[セキュリティ]→[暗号化設定]

2 [端末の暗号化]→[端末を暗号化]

- 端末認証方法（暗証番号／パスワード）を設定している場合は、認証操作が必要です。

❖microSDカードの暗号化

本端末に取り付けているmicroSDカードのすべてのデータを暗号化します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[セキュリティ]→[暗号化設定]

2 [SDカードの暗号化]→[SDカードを暗号化]→認証操作→[SDカードを暗号化]→[OK]

暗号化を解除：[SDカードの暗号化解除] →[SDカードを暗号化解除] →認証操作→[SDカードを暗号化解除] → [OK]

✔お知らせ

- 暗号化したmicroSDカードのデータは、本端末以外では利用できなくなります。データの初期化を行うと暗号化されたmicroSDカードのデータが使えなくなりますので、本端末の初期化を行う前にmicroSDカードの暗号化を解除してください。

◆情報セキュリティ

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

1 待受画面でMENU→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 各項目を設定

ストレージのタイプ：認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報：信頼できる認証情報や証明書を表示します。
ユーザー認証情報：本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
ストレージからのインストール：認証情報や証明書をインストールします。
認証ストレージの消去：認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。
デバイス管理機能の選択：デバイス管理機能の有効／無効を設定します。
SIMカードロック※：設定方法→P121
※nanoSIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

◆PINコードの設定

❖SIMカードロック

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 待受画面でMENU→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、操作2で［SIMカードをロック］をOFFにします。

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→◉[決定]

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力→◉[決定]

2 新しいPINコードを入力→◉[決定]

3 もう一度新しいPINコードを入力→◉[決定]

◆PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック]をONにする）しておく必要があります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック]

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

言語・文字・入力

本端末で使用する言語を変更したり、文字の大きさを変更したりします。

1 待受画面でMENU→[設定]→[言語・文字・入力]

2 各項目を設定

言語：設定方法→P122
フォントサイズ：文字の大きさを変更します。
文字入力設定：設定方法→P54

◆英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 待受画面でMENU→[設定]→[言語・文字・入力]→[言語]

2 [English]

✔お知らせ

- 言語表示の切り替えには時間がかかる場合があります。
- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  待受画面でMENU→[Settings]→[Lang/Text]→[Languages]→[日本語]

便利機能

お気に入り機能ボタンなどの設定を行います。

1 待受画面で MENU →[設定]→[便利機能]

2 各項目を設定

位置情報：設定方法→P123
お気に入り機能ボタン：設定方法→P123
音質・画質調整：誕生日を入力して年齢を設定することで、通話時の音質や画面の文字の見やすさを調整します。

◆位置情報

位置情報の使用をアプリに許可します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[便利機能]→[位置情報]

2 [位置情報提供]をONにする→[同意する]

◆お気に入り機能ボタン

1 2 3 および マナー（サイドキー）を押したときの機能を設定します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[便利機能]→[お気に入り機能ボタン]

2 ボタンを選択→[短押し]／[長押し]→機能を選択

✔お知らせ

- 同じ電話番号または同じメールアドレスが複数の連絡先に登録されている場合、お気に入り機能ボタンから起動できる連絡先は、あいうえお順で優先されます。

ドコモサービス

ドコモのサービスの設定を行います。

1 待受画面で MENU →[設定]→[ドコモサービス]

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチの位置情報サービス機能の設定を行います。

USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。
あんしんマネージャー：あんしんマネージャーの設定を行います。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✔お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、起動できなくなることがあります。

端末管理

日付や時刻、microSDカードなどの設定を行います。

◆日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- ［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］のチェックを外すと、日付と時刻、タイムゾーンを手動で設定できます。

1 **待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［日付と時刻］**

2 **各項目を設定**

日付と時刻の自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。
タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。
日付設定：日付を手動で設定します。
時刻設定：時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示：24時間表示にするかを設定します。

◆SDカードと保存領域

1 **待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［SDカードと保存領域］**

2 **各項目を設定**

内部共有ストレージ：本端末のメモリの使用容量と合計容量、データごとの使用容量を表示します。
SDカード：microSDカードの使用容量と合計容量を確認します。
SDカードをマウント／SDカードのマウント解除：microSDカードを認識させる、またはmicroSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
SDカード内データを消去：設定方法→P125

❖microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［SDカードと保存領域］

2 ［SDカード内データを消去］→［消去してフォーマット］

3 ［完了］

◆本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P125

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［データの初期化］→［携帯端末をリセット］

2 暗証番号またはパスワードを入力→ ●［決定］

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 ［すべて消去］

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

◆高度な設定

VPNやアプリケーションなどの設定を行います。

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［高度な設定］

2 各項目を設定

VPN：設定方法→P126
アプリケーション：設定方法→P126
デフォルト アプリ：デフォルトで使用するブラウザアプリや電話アプリなどを設定します。
視覚サポート：色反転、色補正について設定します。
利用アプリの固定：設定方法→P127

❖VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめ端末認証方法の暗証番号またはパスワードを設定してください。→P119

■VPNの追加

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［VPN］

2 📷［追加］→各項目を設定→［保存］

■VPNへの接続

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［VPN］

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→［接続］

- VPNに接続すると、ステータスバーに🔑が表示されます。

■VPNの切断

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［VPN］

2 接続中のVPNを選択→［切断］

❖アプリケーション

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

■アプリ情報の表示

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［アプリケーション］

2 アプリを選択

■アプリのデータやキャッシュの消去

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［アプリケーション］

2 アプリを選択→［SDカードと保存領域］→［データを消去］／［キャッシュを削除］

- ［データを消去］を選択した場合は［OK］を選択します。

■アプリの無効化

- 無効化したアプリは起動できなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- ［無効にする］を選択した場合は［アプリを無効にする］を選択します。

✔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

❖利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[利用アプリの固定]

2 [利用アプリの固定]をONにする

3 固定したいアプリを起動

4 マナー（1秒以上）→固定したいアプリのサムネイルにカーソル→ 🌐 [画面固定]→[はい]

- アプリの固定を解除するには、マナーを1秒以上押します。

◆端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：設定方法→P156
端末の状態：電池の状態や電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。
法的情報：サードパーティ ライセンスに関する詳細を表示します。
モデル／OSバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

データ管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

- microSDカードについては、「microSDカード」をご覧ください。→P45

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存された静止画や動画、音楽、ドキュメントファイル（Word／Excel／Power Point／PDF）などを表示／再生できます。

1 待受画面で MENU →［データ］

2 各項目を選択

写真：カメラで撮影した静止画を表示します。→P129
画像：ダウンロードした静止画などを表示します。→P129
音楽：楽曲を再生します。→P130
動画：動画を再生します。→P129
書類：ドキュメントを表示します。→P131

その他：［写真］［画像］［音楽］［動画］［書類］で表示／再生できないファイルを確認できます。

◆静止画の表示

カメラで撮影した静止画や本端末にダウンロードした静止画を表示します。

1 待受画面で MENU →［データ］→［写真］／［画像］

- カメラで撮影した静止画は［写真］、ダウンロードした静止画は［画像］に保存されています。

2 静止画を選択

静止画再生画面が表示されます。

❖静止画再生画面の操作

静止画再生画面では次の操作ができます。

前後の静止画に切り替え：

拡大：● ［拡大］

- 拡大中に CLR を押すと元の表示に戻ります。

スクロール（表示領域より大きな静止画の場合）：

全画面表示：✉ ［全画面］

静止画の回転：📷 ［回転］

❖静止画再生画面のサブメニューの利用

1 静止画再生画面で MENU ［サブメニュー］

2 各項目を選択

送信：メールなどを利用して静止画を送信します。
削除：静止画を削除します。
スライドショー：静止画をスライドショー再生します。
画像を登録：静止画を電話帳や壁紙に登録します。
設定：スライドショーの表示間隔や表示効果などを設定します。
詳細情報：静止画の詳細情報を表示します。

◆動画の再生

カメラで撮影した動画などを再生します。

- 再生できるデータについては、「主な仕様」をご覧ください。→P158

1 待受画面で MENU →［データ］→［動画］

2 動画を選択

動画再生画面が表示されます。

❖動画再生画面の見かた

①ファイル名
②再生時間／総再生時間
③再生の状態
▶／❚❚：再生中／一時停止中
◀◀／▶▶：早戻し中／早送り中
④リピートの状態
／：リピート再生有効／無効
⑤再生位置インジケータ
⑥再生音量

❖動画再生中の操作

動画再生中は次の操作ができます。

音量調節：
コマ戻し／コマ送り：
早戻し／早送り再生：（1秒以上）
一時停止／再生：［停止］／［再生］
全画面と通常の再生画面の切り替え：［ガイド］
縦画面／横画面に切り替え：［画面回転］
一覧画面に戻る：CLR
先頭へジャンプ：［先頭へ］

❖動画再生画面のサブメニューの利用

1 動画再生画面でMENU［サブメニュー］

2 各項目を選択

表示切替：［ノーマル］または［シネマ］から選択します。
リピート再生：リピート再生するかを設定します。
送信：メールを利用して動画を送信します。
削除：動画を削除します。
詳細情報：動画の詳細情報を表示します。
ヘルプ：操作ガイドを表示します。

◆音楽の再生

パソコンなどから転送した楽曲を再生します。

- 再生できるデータについては、「主な仕様」をご覧ください。→P158

1 待受画面でMENU→［データ］→［音楽］

2 楽曲を選択

再生画面が表示されます。→P102

◆ドキュメント（書類）の表示

Word、Excel、PowerPoint、PDF、TEXTファイルなどを表示します。

1 待受画面で MENU →[データ]→[書類]

2 フォルダ／データを選択

ドキュメント表示画面が表示されます。

✔お知らせ

- 画像が多い場合など、データによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。

❖ドキュメント表示画面の操作

ドキュメント表示画面では次の操作ができます。

スクロール： （押し続けると連続スクロール）
前後のページに移動： ✉ ［前ページ］／ 🌐 ［次ページ］
最初／最後のページに移動： 4 ／ 6
拡大／縮小： 3 ／ 1
検索： 5

- MENU ［前候補］／ 📷 ［次候補］を押すと前後の候補に移動し、一致した語が緑色で強調表示されます。CLR を押すと元の表示に戻ります。

❖ドキュメント表示画面のサブメニューの利用

- データによって表示される項目は異なります。

1 ドキュメント表示画面で MENU ［サブメニュー］

2 各項目を選択

移動：ドキュメント内でページを移動します。
検索：ドキュメント内の文字を検索します。
ページ表示：ページの表示サイズを設定します。
設定：ドキュメントの表示について設定します。
プロパティ：ドキュメントのプロパティを表示します。
共有：ドコモメールを利用してドキュメントを共有します。
バージョン情報：ドキュメントを表示しているアプリのバージョンを表示します。

パソコンとの接続

◆本端末のデータをパソコンから操作

USBケーブル A to C 02（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows 8.1、Windows 10に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 **USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSB接続端子に差し込む**

2 **USB接続の用途を選択**

この端末を充電する：充電のみ行います。
ファイルを転送する：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。
写真を転送する（PTP）：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。
USBテザリング：設定方法→P115

3 **目的の操作を行う**

✔お知らせ

- ［写真を転送する（PTP）］を選択した場合は、microSDカードを取り外している（マウントを解除している）ときのみ、本端末の内部ストレージのデータをパソコンから操作できます。

安心・安全サービス

災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した時に、安否情報の登録と確認ができるサービスです。
本端末から文字でお客様の安否情報を登録し、家族などの携帯電話、パソコンなどから安否情報の確認ができます。
災害用伝言板の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[災害用伝言板]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- 本端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

◆緊急速報「エリアメール」の受信

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■受信したエリアメールをあとで確認

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[緊急速報「エリアメール」]

2 エリアメールを選択

■エリアメールの削除

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[緊急速報「エリアメール」]

2 削除するエリアメールにカーソル→[削除]→[削除]

◆緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[緊急速報「エリアメール」]

2 MENU [サブメニュー]→[設定]

3 各項目を設定

エリアメールの許可：エリアメールを受信するかどうかを設定します。
エリアメールの履歴：受信したエリアメールの一覧を表示します。
バイブレーション：エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
メッセージ受信の再通知：受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。

- 再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。
- 1回を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1度だけ再通知されます。
- 2分ごとを設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。
- 15分ごとを設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。

最大音量を使用する：エリアメール受信時の音量を設定します。

- ON にした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。
- OFF にした場合、アラーム音量に従って鳴動します。

受信画面・着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
翻訳設定：受信内容の翻訳機能を利用するかどうかを設定します。

ドコモあんしんスキャン

フィッシングサイトやウイルス配布サイトなどの危険なサイトに接続したときに、警告画面を表示してお知らせします。

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[あんしんセキュリティ]→[あんしんスキャン]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- ドコモあんしんスキャンは、あんしんセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- ドコモあんしんスキャンの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

あんしんナンバーチェック

しつこいセールスなどの迷惑な電話や、詐欺・架空請求などの危険な電話の可能性が高い電話番号からの着信を事前にお知らせします。

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[あんしんセキュリティ]→[あんしんナンバーチェック]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- あんしんナンバーチェックは、あんしんセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- あんしんナンバーチェックの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

あんしんフィルター for docomo

お子様が安心して本端末をご利用いただけるように、お子様の年齢や利用状況に応じて、保護者が本端末のアプリ起動を制限したり、有害サイトへのアクセスを防ぐことができるブラウザアプリです。

1 待受画面で MENU →［あんしん］→［あんしんフィルター］

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、［同意する］を選択してください。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- あんしんフィルター for docomoの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- あんしんフィルター for docomoご利用中は、端末の標準ブラウザはご利用いただけません。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。
国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/

■対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。→P139

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。

海外でご利用になる前に

◆出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
ahamoプランでご利用になる場合、WORLD WINGのお申し込みは不要で廃止はできません。

■充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。また、ahamoプランでご利用になる際は、必ずahamoのホームページで詳細をご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。日本国内から（→P69）、海外から（→P143）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

■接続について

［モバイル ネットワーク］で［自動的に選択］をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆海外で利用するための設定

❖データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]

2 [データローミング]→[ON]→注意画面の内容を確認して[OK]

❖通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]→[自動的に選択]→[OFF]

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、パケット通信を無効にしてから再度実行してください。→P113

2 通信事業者のネットワークを選択

✔お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、手順2で［自動的に選択］をONにしてください。

❖優先ネットワークモードの設定

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイル ネットワーク]→[優先ネットワークモード]

2 [4G/3G/GSM(自動)]／[3G/GSM]／[GSM]

❖日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P124

❖お問い合わせについて

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。
- ahamoプランをご利用の場合、ahamoのホームページからお問い合わせください。

滞在先で電話をかける／受ける

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で 0 （1秒以上）→国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

2 [発信]

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をONにしている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→[発信]→［変換後の番号で発信］を選択します。

3 通話が終了したら[終話]

◆滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 待受画面で[発信]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

3 [発信]

4 通話が終了したら[終話]

◆海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
  [0]（1秒以上）→「81」（日本の国番号）-先頭の「0」を除いた電話番号

◆滞在先で電話を受ける

海外でも日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［発着信・通話設定］→［海外設定］**

2 **各項目を設定**

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイダンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
国際ダイヤルアシスト：設定方法→P143
ネットワークサービス：設定方法→P143

◆国際ダイヤルアシスト

1 **待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[海外設定]→[国際ダイヤルアシスト]**

2 **項目を選択**

自動変換機能：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号：自動変換機能で使用される国番号を選択します。
国際プレフィックス：自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

◆ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ［遠隔操作設定］を開始する必要があります。→P69
- 海外から操作した場合、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[海外設定]→[ネットワークサービス]**

2 **項目を選択**

遠隔操作（有料）：遠隔操作を開始するか設定します。
番号通知お願いサービス（有料）：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイダンス（有料）：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
留守番電話サービス（有料）：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申し込みが必要）
転送でんわサービス（有料）：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申し込みが必要）

3 **指示に従って操作**

4 **音声ガイダンスに従って操作**

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

■海外でパケット通信を利用した場合

［データローミング］をOFFに設定してください。→P139

■帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- ［モバイル ネットワーク］の［優先ネットワークモード］を［4G/3G/GSM（自動）］に設定します。→P139
- ［モバイル ネットワーク］の［自動的に選択］をONにします。→P139

付録／索引

メニュー一覧

■メール

メニュー	ショートカット	参照
メール	1 1	P74
クイックメール設定	1 2	P76
＋メッセージ（SMS）	1 3	P76
Eメール	1 4	P81
Exchange	1 5	P84

■Web

メニュー	ショートカット	参照
dメニュー・検索	2 1	P87
ブックマーク	2 2	P91
サイト閲覧履歴	2 3	P93
Google検索	2 4	P88
ブラウザ起動	2 5	P88
ブラウザ設定	2 6	P94

■あんしん

メニュー	ショートカット	参照
災害用伝言板	3 1	P133
緊急速報「エリアメール」	3 2	P133
あんしんセキュリティ	3 3	P135
あんしんフィルター	3 4	P136

■カメラ／音楽

メニュー	ショートカット	参照
カメラ	4 1	P97
ビデオ	4 2	P99

■データ

メニュー	ショートカット	参照
写真	5 1	P129
画像	5 2	P129
音楽	5 3	P130
動画	5 4	P129
書類	5 5	P131
その他	5 6	P129

■音楽

メニュー	ショートカット	参照
音楽	6	P101

■電話機能

メニュー		ショートカット	参照
電話帳		7 1	P71
ドコモ留守電アプリ		7 2	P68
伝言メモ	伝言メモ	7 3 1	P65
	伝言メモリスト	7 3 2	P65
	着信呼出設定	7 3 3	P65
通話メモ	自動通話メモ	7 4 1	P66
	通話メモリスト	7 4 2	P66
	保存先設定	7 4 3	P66
リダイヤル		7 5	P64
着信履歴		7 6	P64
発着信・通話設定	ネットワークサービス	7 7 1	P69
	海外設定	7 7 2	P70
	着信設定	7 7 3	P70
	発信設定	7 7 4	P70
	その他設定※	7 7 5	P71
短縮ダイヤル設定		7 8	P60
迷惑電話対策		7 9	P67

※［フォントサイズ］を［特大］に設定した場合は、7 7 2ページ目の 1 を押します。

■設定

- 設定メニューについては「設定メニュー」をご覧ください。→P109

■ツール

メニュー	ショートカット	参照
電卓	9 1	P106
アラーム	9 2	P104
スケジュール	9 3	P103
メモ	9 4	P105
お知らせタイマー	9 5	P107
QRコードリーダー	9 6	P100
歩数・活動量計	9 7	P101
ボイスレコーダー	9 8	P105
取扱説明書	9 9	H2
SDカードバックアップ	9 0	P107

■プロフィール

メニュー	ショートカット	参照
プロフィール	0	P43

トラブルシューティング（FAQ）

◆故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。
  詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P156
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P46
- 電池切れになっていませんか。

●画面が動かない／電源が切れない

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、電池パックをいったん取り外し、数秒間待ったあと再度取り付け、電源を入れ直してください。→P47

※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P46
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P50
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P50
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、ACアダプタのType-Cプラグが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P49
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 本端末をパソコンにUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作・画面

●キーを押しても動作しない

電源が切れていませんか。→P51

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P58
  - CLR でアプリを終了
- 電池の消費を抑える設定などarrowsについてのFAQや便利な使いかたについては、@Fケータイ応援団をご覧ください。
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では機内モードをONにするか、電源を切ってください。→P51、P115
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●nanoSIMカードが認識されない

nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P43

●キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止することがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

・次の設定を変更していませんか。
- 画面の明るさ→P111
- 画面消灯時間→P111

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P124

●端末動作が不安定

・お買い上げ後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
次の方法でセーフモードを起動してください。
- 電源を切った状態で［⌐］を2秒以上押し、docomoのロゴが消えたら［MENU］または［●］を押し続ける
- 電源が入っている状態で、［⌐］を押す（1秒以上）→［電源を切る］／［再起動］を押す（1秒以上）→［OK］

セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
※お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P127

■通話・音声

●キーを押しても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P115

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、マスク通話モードをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P64

●通話ができない（場所を移動しても▲の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはnanoSIMカードを取り付け直してください。→P43、P46、P51
- 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は▲を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P70
- ［優先ネットワークモード］の種類（4G／3G／GSM（自動））を変更していませんか。→P139
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 音量の［着信音と通知音］を0にしていませんか。→P110
- 次の機能を起動していませんか。
  - 運転中モード→P35
  - 公共モード（電源OFF）→P70
  - マナーモード→P110
  - 機内モード→P115
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P70
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 伝言メモの［着信呼出設定］→P65
  - 留守番電話サービスの［呼出時間設定］→P69
  - 転送でんわサービスの［呼出時間］→P69

●電話がつながらない

- nanoSIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P43
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P115

■メール

●メールを自動で受信しない

メール設定の通信設定で自動通信設定を［毎回確認する］または［OFF］に設定していませんか。→P76

■カメラ

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 本端末のカメラにはオート撮影機能が搭載されていますが、静止画撮影の場合は手動オートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせることができます。→P97

■海外利用

●海外で、▲が表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
- ［優先ネットワークモード］の種類を［4G／3G／GSM（自動）］に変更してください。→P139
- ［モバイル ネットワーク］の［自動的に選択］をONに設定してください。→P139
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P51

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P142

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P139

■データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P45

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像を表示しようとすると／などが表示される

画像データが壊れている場合に表示される場合があります。

■通知

●「○○が電池を使用しています」と通知が表示される

- 通知アイコンを表示しないように変更する場合は、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［アプリケーション］→MENU［サブメニュー］→［システムを表示］→［OSシステム］→［アプリの通知］→［アプリが電池を消費しています］→［重要度］→［低］と操作してください。
- アプリ通知一覧の通知を表示しないように変更する場合は、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［高度な設定］→［アプリケーション］→MENU［サブメニュー］→［システムを表示］→［OSシステム］→［アプリの通知］→［アプリが電池を消費しています］→［ON］と操作してOFFにしてください。

◆エラーメッセージ

●空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
不要なデータを削除してから、再度ご利用ください。

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。アルバムやデータから不要なデータを削除することで、端末の空き容量を増やすことができます。

●音声通話サービス停止／データサービス停止

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●PUKコードがロックされました

nanoSIMカードのPINロック解除コード（PUK）の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P117

●SIMカードが挿入されていません

nanoSIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P43

●SIMカードはロックされています。

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P121

●SIM card 異常
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。
nanoSIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときに表示されることがありますが、故障ではありません。nanoSIMカードのICは定期的に清掃してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ※リアカバー F93、電池パック F36、卓上ホルダ F54は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
※お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■無料修理規定

①保証期間内に取扱説明書などの注意に従った使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
②保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
1. 改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
6. ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。
③本保証は日本国内においてのみ有効です。

④本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
⑤お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
⑥修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
⑦修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

❖アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P147）。

■修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。
お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。
お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。

■お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。ソフトウェアアップデートの種類としては以下の３つがあります。

■新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■セキュリティパッチの最新化

セキュリティパッチ（脆弱性を対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ソフトウェアアップデートを行う

❖更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

■更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから「ソフトウェアアップデート提供開始」、「ソフトウェアアップデート開始確認」の通知を選択し、更新を開始します。

■本体設定から

待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］を選択し、更新を開始します。ソフトウェアアップデートが不要な場合、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

❖更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に「今すぐ実施」「後で」の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、以下のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spmode.ne.jpに設定の場合、通信料金は発生しません。

①「今すぐ実施」を選択する

すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。

②「後で」を選択する

時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。予めおすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、［予約時刻変更］を選択し、予約時刻を指定してください。

- 後から予約時刻を変更する場合は、待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］→［予約時刻変更］を選択し、予約時刻を設定してください。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。
- 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止する場合は、一定時間内にキャンセルを選択してください。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに「ソフトウェアアップデート完了」が表示されます。

❖注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。
- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
  - 通話中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - 必要な電池残量がないとき
  - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
  - 国際ローミング中
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■本体

品名		F-41C
サイズ		高さ約113mm×幅約51mm×厚さ約15.8mm
質量		約●●●g
ディスプレイ	種類	ディスプレイ：TFT 背面ディスプレイ：有機EL
	サイズ	ディスプレイ：約3.4インチ 背面ディスプレイ：約0.8インチ
	発色数	ディスプレイ：16777216色 背面ディスプレイ：2色
	解像度	ディスプレイ：横480ピクセル×縦854ピクセル（FWVGA） 背面ディスプレイ：横96ピクセル×縦39ピクセル
内蔵メモリ		ROM：8GB※1 RAM：1GB

電池パック	使用電池	リチウムイオン電池
	公称電圧	3.8V
	公称容量	1680mAh
連続待受時間 ※2、3	LTE	静止時（自動）：約●●●時間
	3G	静止時（自動）：約●●●時間
	GSM	静止時（自動）：約●●●時間
連続通話時間 ※3、4	LTE（VoLTE）	約●●●分
	3G	約●●●分
	GSM	約●●●分
充電時間		ACアダプタ 08：約●●●分
撮像素子	種類	裏面照射型CMOS
	サイズ	1/4.0インチ
カメラ有効画素数		約810万画素
カメラ記録画素数（最大時）		約800万画素
記録ファイル形式	動画	MP4
	静止画	JPEG
ズーム（デジタル）	静止画	最大約8.0倍
	動画	最大約8.0倍

動画撮影時間		1件あたり：最大約58分 ※5
動画再生	対応コーデック	H263、H264、MPEG-4、VP8
音楽再生	対応コーデック	AAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、Opus
対応言語	表示言語	日本語／英語
	入力言語（文字入力）	日本語／英語
伝言メモ	保存可能件数	最大10件
	1件あたりの最大録音時間	最大60秒
発着信履歴表示件数		リダイヤル：最大50件 着信履歴：最大50件

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。
使用可能な空き容量については、「SDカードと保存領域」をご覧ください。→P124

※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
※4 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
※5 撮影サイズがHD（1280×720）の場合の撮影時間です。

■卓上ホルダ

入力	DC5.0V　1.5A
出力	DC5.0V　1.5A

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-41Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は●.●●●W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は●.●●●W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-publichealth-mobile-phones
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
FCNTのホームページ
https://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-41C mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.
This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves*1 and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.
The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is ●.●●● W/kg, and that when worn on the body is ●.●●● W/kg. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.
This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-publichealth-mobile-phones
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
FCNT LIMITED Product Information Website:
https://www.fmworld.net/product/phone/sar/ (in Japanese only)

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

◆Declaration of Conformity

Trade Mark: FCNT
Model Name: F-41C
Hereby, FCNT LIMITED declares that the RE product of "F-41C" is in compliance with RED 2014/53/EU.
The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
https://www.fmworld.net/product/phone/doc/

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR*1 limits*2 for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR*1 value, when tested for compliance against the standard was 0.77W/kg*3 for HEAD and 1.40W/kg*3 for BODY. While there may be differences between the SAR*1 levels of various phones and at various positions, they all meet*4 the EU requirements for RF exposure.
Normal operation: 5℃～35℃.

*1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
*2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
*4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz	33.0dBm
	DCS1800	1710-1785MHz	30.0dBm
UMTS	FDD I	1920-1980MHz	24.0dBm
LTE	FDD 1	1920-1980MHz	23.0dBm

The manufacturer of this product is FCNT LIMITED with its registered place of business at 7-10-1 Chuorinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

◆Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ①this device may not cause harmful interference, and
  ②this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.59W/kg*, and when worn on the body, is 1.09W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be

found under the Equipment Authorization Search section at https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID 2AYY9FMP189).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 0.5 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

* Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning
This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

High sound pressure

Warning: In order to prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「エリアメール」「spモード」「Xi」「Xi／クロッシィ」「dメニュー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしんスキャン」「あんしんナンバーチェック」「オフィスリンク」および「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「ドコモ電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google は Google LLC の商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
  「UD新丸ゴ」は、同社の登録商標または商標です。
- 「あわせるボイス®」は、富士通株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  https://www.mpegla.com をご参照ください。

◆オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアにFCNT株式会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［法的情報］→［サードパーティライセンス］をご覧ください。
  オープンソースライセンスに基づきFCNT株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご覧ください。
  http://spf.fmworld.net/oss/oss_fp/

索引

ア行

アイコン
新着情報アイコン 41
ステータスアイコン 39
ステータスバー 39
通知アイコン 39
背面ディスプレイのアイコン 41
アクセスポイント 113
確認 114
初期化 114
追加 114
アフターサービス 154
アプリケーション 126
キャッシュを消去 126
データを消去 126
無効化 127
アプリ通知一覧 40
アラーム 104
あわせるビュー 111
暗号化設定 120
端末の暗号化 120
microSDカードの暗号化 120
あんしんナンバーチェック 135
あんしんフィルター for docomo 136
位置情報 123
イヤホンマイク入力 109
運転中モード 35
英語ガイダンス 69
英語表示 122
エコモード 112
エラーメッセージ 152
エリアメール 133
エリアメールの許可 134
エリアメールの履歴 134
確認 134
最大音量を使用する 134
削除 134
受信 134
受信画面・着信音確認 135
設定 134
バイブレーション 134
翻訳設定 135
メッセージ受信の再通知 134
やさしい日本語表示 135
遠隔操作設定 69
オープンアシストボタン 33, 37
オープンソースソフトウェア 170
お気に入り機能ボタン 123
お知らせタイマー 107
お知らせLED 33, 42
詳細設定 110
音・バイブ・LED 109
音質・画質調整 123
音量 110

カ行

海外利用 137
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける 141
確認事項 138
帰国後の確認 144
設定 139

滞在先で電話を受ける 141
滞在先で電話をかける 140, 141
通信サービス 137
ガイド表示領域 40
外部機器接続 132
パソコンとの接続 132
外部ストレージ 45, 128
開閉音 109
仮想プライベートネットワーク 126
カメラ 34, 95
撮影時の注意事項 95
静止画撮影 97
静止画のオート撮影機能 98
静止画の撮影設定 98
動画撮影 99
動画のオート撮影機能 99
動画の撮影設定 99
画面 111
画面消灯時間 111
画面の明るさ 111
画面保存 42
画面ロック
暗証番号 117
解除方法の設定 119
かける 119
パスワード 117
カラーテーマ 111
キー 35
キー確認音 109
キーバックライト 110
機内モード 115
キャッチホン 69
緊急速報「エリアメール」 133
クイックメール 75
クイックメール設定 76
クローズロック 118
言語・文字・入力 122
公共モード（電源OFF）設定 70
高度な設定 125
国際電話（WORLD CALL） 62
国際ローミング（WORLD WING） 137

サ行

災害用伝言板 133
材質 19
視覚サポート 125
時刻 124
充電 47
充電用アダプタ 49
卓上ホルダ 49
注意事項 47
パソコン 51
ACアダプタ 50
DCアダプタ 51
充電開始音 109
充電端子 34
受話口 33
仕様 158
商標 169
情報セキュリティ 121
ショートカット操作 38
初期化 125
初期設定 56
新着情報アイコン 41
スクリーンショット 42
スケジュール 103
削除 104
登録 103

ステータスアイコン 39
ステータスバー 39
ストラップホール 33
スピーカー 34
静止画撮影画面 97
静止画のオート撮影機能 98
オートフォーカス 98
シーン別撮影 98
自動露出調整 98
ちらつき調整 98
ホワイトバランス 98
静止画の撮影設定 98
位置情報 98
カメラモード 98
サイズ選択 98
セルフタイマー 98
保存先選択 98
セキュリティ 116
設定メニュー 109
送話口 33
ソフトウェアアップデート 156

タ行

タスク管理 58
端末管理 124
端末情報 127
端末の状態 127
法的情報 127
端末認証方法 119
暗証番号 117, 119
パスワード 117, 119
知的財産権 168
着信音 109
着信中の操作
拒否してSMS送信 62
着信拒否 62
伝言メモ 62
着信通知 69
着信バイブ 109
着信履歴 64
通信事業者 139
通信・機内モード 112
通知アイコン 39
通知音 109
通知LED 109
通話中の操作
スケジュール 64
着信履歴 63
通話音量調節 63
プロフィール 63
保留 63
マスク通話モード 64
メモ 64
リダイヤル 64
録音開始／録音停止 63
通話メモ 66
ディスプレイ 33
データ使用量 112
データの初期化 125
データローミング 139
テキスト編集 55
テザリング 115
USBテザリング 115
デフォルト アプリ 125
電源を入れる 51
電源を切る 51
伝言メモ 65
着信呼出設定 65

伝言メモリスト.....65
ON／OFF.....65
転送でんわサービス.....69
電卓.....106
電池.....112
充電.....47
寿命.....48
取り付け.....47
取り外し.....47
電話.....59
受ける.....62
かける.....59
緊急通報.....61
通話設定.....69
発信者番号通知.....59, 69
プッシュ信号.....59
プレフィックス選択.....59
保留.....63
電話帳.....71
グループの利用.....73
削除.....72
登録.....71
編集.....73
動画撮影画面.....99
動画のオート撮影機能.....99
オートフォーカス.....99
ちらつき調整.....99
ホワイトバランス.....99
動画の撮影設定.....99
カメラモード.....99
サイズ選択.....99
保存先選択.....100
ドコモあんしんスキャン.....135
ドコモサービス.....123
あんしんマネージャー.....124
オープンソースライセンス.....124
ドコモ位置情報.....123
dアカウント設定.....123
USBデバッグ切替.....124
ドコモメール.....74
作成・送信.....74
受信.....76
ドコモ留守電アプリ.....68
nanoSIMカード
暗証番号.....117
トラブルシューティング.....147

ナ行

内部共有ストレージ.....124
内部ストレージ.....128
認証情報.....121
認証方法.....119
ネットワーク暗証番号.....117
ネットワークモード.....139

ハ行

背面ディスプレイ.....33, 41
パスワード表示.....116
パソコンとの接続.....132
写真の転送（PTP）.....132
ファイルの転送（MTP）.....132
発信者番号通知.....59, 69
番号通知お願いサービス.....69
日付.....124
日付と時刻.....124
時刻設定.....124
タイムゾーンの選択.....124

タイムゾーンを自動設定 124
日付設定 124
日付と時刻の自動設定 124
24時間表示 124
ファイル操作 128
フォーカスモード 41
フォントサイズ 122
ブックマーク 91
移行 92
削除 92
登録 91
編集 92
ブラウザ 87
キー操作 88
ケータイモード 89
サイト閲覧履歴 93
設定 94
ドラッグ操作 89
ブックマーク 91
ポインタ操作 89
マウスモード 89
プロフィール 43
便利機能 123
ボイスレコーダー 105
ポインタ 38
防水／防塵、耐衝撃性能 25
保証 153
歩数・活動量計 101
本体メモリ 128

マ行

マイク 33
待受画面 38
カスタマイズ 111
マナーモード 110
アラームONマナー 110
サイレントマナー 110
通常マナー 110
水抜き 31
ミュージック 101
無操作ロック 118
迷惑電話ストップサービス 69
迷惑電話対策機能 67
メール 74
クイックメール 75
目覚まし 104
メニュー 37
一覧 145
メモ 105
文字入力 52
絵文字／記号／顔文字入力 53
設定 54
単語登録 54
定型文登録 54
定型文入力 53
データ引用 53
テキスト編集 55
モバイルデータ 113
モバイル ネットワーク 113

ヤ行

輸出管理規制 168

ラ行

リアカバー 34
リセット 125
リダイヤル 64

利用アプリの固定.....127
留守番電話サービス.....69
ロック.....118
ロック画面
壁紙.....111

英数字・記号

APN.....113
dアカウント.....57
dメニュー.....87
Eメール.....81
アカウントの設定.....81
削除.....83
作成／送信.....82
受信／表示.....83
設定.....83
転送.....83
返信.....83
Exchangeメール.....84
アカウントの設定.....84
削除.....86
作成／送信.....85
受信／表示.....85
設定.....86
転送.....86
返信.....85
FAQ.....147
FOMAアンテナ部.....34
FOMAサブアンテナ.....34
GPSアンテナ部.....34
microSDカード.....45, 128
データ消去.....125
取り付け.....45
取り外し.....46
パソコンから操作.....132
フォーマット.....125
microSDカードスロット.....34
nanoSIMカード.....43
暗証番号.....44
取り付け.....44
取り外し.....44
nanoSIMカードスロット.....34
PINコード.....117
設定.....121
入力.....121
変更.....122
PINロック解除コード（PUK）.....117
PINロックの解除.....122
QRコードリーダー.....100
読み取り.....100
SAR.....160, 161
SDカードと保存領域.....124
内部共有ストレージ.....124
SDカードのマウント解除.....124
SDカードをマウント.....124
SDカードバックアップ.....107
SIMカードロック.....121
USB Type-C接続端子.....33
USBテザリング.....115
VPN.....126
接続.....126
切断.....126
追加.....126
WORLD CALL.....62
WORLD WING.....137
＋メッセージ.....76
削除.....80
スレッド削除.....80

設定.....80
送信.....78
転送.....80
読む.....79

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P70
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P109
電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P110
着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P69

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　[🌐]→dメニュー・検索→ My docomo（お客様サポート）
パソコンから　My docomo（ https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/ ）

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
●「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示　**-81-3-6832-6600**（無料）

（「+」は「0」キーを1秒以上押します。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600**（有料）

※日本向け通話料がかかります。
※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
●オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。
ドコモのホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

ahamoプランをご契約のお客様

■故障等のお問い合わせ
ahamoのホームページ
https://ahamo.com/

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　FCNT株式会社

’22.4（1 版）
RA92002-0171